



# バイク専用ドライブレコーダー EDR-22G / EDR-22 取扱説明書

このたびは、「バイク専用ドライブレコーダー EDR-22G / EDR-22」をお買い上げ  
頂きましてありがとうございます。  
正しく安全にお使い頂くために、本書をよくお読みください。

■ 本書では、安全上重要な項目に下記のマークを表示しています。  
各マークの意味は次の通りです。

 警告	取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」 ことを意味します。また、「法律に違反する」ことを意味します。
 注意	取り扱いを誤った場合、「傷害を負う危険が想定される」ことや「物的 損害が発生する恐れがある」ことを意味します。

※ 本品及び関連ソフトウェアの仕様や外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。  
※ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。

株式会社 **mitsuba**サンコーワ

# 目次

## はじめに

安全上・使用上の注意	3～5
構成部品 / 各部の名称・他	6～7

## SD カード

SD カードの注意	8
SD カードについて	9
録画時間の目安	10

## 取り付け方法

取り付け上の注意	11
取り付け前の準備	12～13
取り付け手順	14～26
取り付け後の初期設定	27

## 使用方法

常時録画	28
常時録画の保存方法について	29
イベント録画（衝撃録画・手動録画）	29～30
イベント録画（衝撃録画・手動録画）の保存方法	31
インジケーター表示一覧	32～34

## スマートフォンアプリ / PC ソフト

専用スマートフォンアプリ「Moto DR」について	35
専用 PC ソフト「Moto DR Player」について	35
専用スマートフォンアプリ / PC ソフトで出来ること	36

## 各種設定

録画 / 録音設定項目一覧	37
設定画面を表示する	38
スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)	39～43
スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)	44～47
スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続を解除する	48
カメラの撮影映像を確認する	49～50
時刻同期をする	51
SD カードをフォーマットする	52
無線 LAN パスワードを変更する	53～57
無線 LAN パスワードを初期化する	58
工場出荷時設定	59～60
リセットスイッチ	61

## その他

こんなときは -Q&A-	62～64
商品に関するお問い合わせ窓口	64
主な仕様	65～66
ライセンス情報	67

# ■ 安全上の注意

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読み頂き、正しくお使いください。  
ここに記載された注意事項は、本品を安全に正しくお使い頂き、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。



警告

- ・異常、故障、破損時は、直ちに使用を中止し、本品の電源ケーブルの赤コードまたは中継コネクタを外してください。そのまま使用すると、火災や発火、感電の原因となります。  
＜異常な状態の例＞  
異音 / 異臭 / 発煙 / 発熱 / 内部浸水 / 内部異物侵入時など
- ・本品は、無線通信 (2.4GHz 帯) を使用しています。心臓ペースメーカーや除細動器等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご相談ください。
- ・走行中にスマートフォンやスイッチのインジケータを注視しないでください。事故の原因となります。また、このような行為は、道路交通法第 71 条への違反となり、処罰の対象となります。
- ・本品 (本体、カメラ、スイッチ、GPS アンテナ、各種ケーブル・コード類) を絶対に分解、改造しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- ・各部品の取り付けやケーブルの固定は確実にこなってください。部品の脱落や事故、故障の原因となります。
- ・カメラステーのネジに緩みがないか、取り付けた部品の両面テープにはがれがないか、定期的に点検をおこなってください。部品の脱落や事故、故障の原因となります。



注意

- ・本体のラベルには、技術基準適合番号が印刷されています。このラベルをはがしたり、分解や改造したりすることは、電波法で禁止されています。絶対におこなわないでください。
- ・バイクを長期間使用しない場合は、バッテリーのプラスから電源ケーブルの赤コードまたは中継コネクタを外してください。バッテリー上がりの原因となります。また、中継コネクタを外した際は、ビニールテープ等でコネクタ部を絶縁処理してください。故障の原因となります。
- ・中継コネクタを抜き挿しする際は、コネクタ部を手で持ち、矢印マークの位置を合わせて接続してください。断線や端子の破損、故障の原因となります。
- ・本品 (本体、カメラ、スイッチ、GPS アンテナ、各種ケーブル・コード類) にガソリンや油脂類、有機溶剤、酸、ブレーキフルード等を付着させないでください。劣化や破損、故障の原因となります。
- ・本品を落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えないでください。破損や故障の原因となります。
- ・3A 以外のヒューズを使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- ・濡れた手で、中継コネクタや SD カードの抜き挿しは、おこなわないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- ・SD カードスロットに異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。

# ■ 使用上の注意

## 録画に関する注意

- ・本品によって記録された映像等は、事故の証拠としての効力を保証するものではありません。
- ・本品の使用や故障によって生じた損害（記録された映像やデータの消失、損傷、破損など）について、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・すべての環境下において、本品での映像や音声の記録を保証するものではありません。事故の大きさや水没等で、本品及び SD カードが損傷を受けた場合、映像を記録出来ない場合があります。
- ・LED 式信号機の周期によって、点滅または消灯した状態で撮影される場合があります。これは本品の映像記録周期によるもので本品の故障ではありません。また逆光の環境では、色を識別出来ない場合があります。これらの事象によって発生した損害について、弊社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本品で撮影した映像の一部にゆがみや影が生じたり、実際の映像と遠近感が異なったりします。これは広角レンズの特性によるもので、本品の故障ではありません。
- ・事故発生時の録画ファイルを保管したい場合は、本体から SD カードを抜いて頂くか、専用スマートフォンアプリにて保管したい映像にロック（保護）をかけてください。長期保管される際は、スマートフォンや PC 等にファイルをコピーしてください。
- ・本品で録画した映像は、使用の目的や使用方法によってプライバシー等の権利を侵害する恐れがあります。これらの問題には、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・走行前にカメラのレンズに汚れが付着していないか確認してください。汚れが付着していると鮮明に映像を記録することが出来ません。汚れが付着している場合は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布などで強くこするとレンズに傷がつきますので、注意してください。
- ・録画されている時刻と実際の時刻にズレが生じる場合があります。これは本体内蔵の時計によるもので、本体の故障ではありません。専用スマートフォンアプリで月に一度、時刻同期することをおすすめします。

EDR-22G は、GPS 電波を受信することで自動的に時刻同期しますが、録画開始直後は GPS 電波を受信していないため、記録している時間のズレが生じる場合があります。前回走行から期間が開いている場合は、走行前に専用スマートフォンアプリで時刻同期をすることをおすすめします。
- ・バッテリー交換やバッテリー端子を外した場合は、初期設定の時刻（2022 年 1 月 1 日）にリセットされます。再度、専用スマートフォンアプリにて時刻同期をおこなってください。

## GPS 機能に関する注意

- ・周囲の環境によって、GPS を測位出来なかったり、測位するまでに時間がかかったり、測位した位置に誤差が生じる場合があります。
- ・GPS アンテナは、金属や金属コーティングされた部品等が上部を覆わない場所で他の車載電子機器から出来るだけ離して設置してください。金属や他の車載電子機器の影響で GPS 電波を受信出来ず、測位出来なくなる場合があります。
- ・トンネルやビル街などを走行中に GPS 電波を受信出来なくなった場合、再度測位するまで時間がかかる場合があります。
- ・本品の近くで大出力の無線機器などが使用された場合、GPS の電波を受信出来なかったり、位置情報精度が低下する場合があります。これは無線機器の発する電波によるもので、本体の故障ではありません。

# ■ 使用上の注意 (つづき)

## 無線 LAN に関する注意

- ・本品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線設備として、技術基準適合を受けています。そのため、本品を使用するときに無線局の免許は必要ありませんが、日本国外で使用する場合には、各国の電波法に抵触する恐れがあります。
- ・本品が使用する周波数帯 (2.4GHz 帯) では、電子レンジなどの家電製品や産業、科学、医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用構内無線局 (免許を要する無線局)、特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、アマチュア無線局などが運用されています。本品を使用する前に、近くでそれらの無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本品とそれらの無線局との間に電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本品の使用場所を変えるか、本品の使用を停止してください。
- ・本品は、すべてのスマートフォンとの接続動作を確認しておりませんので、すべてのスマートフォンとの接続動作を保証するものではありません。
- ・本体は、金属や金属コーティングされた部品等で覆われた場所に設置しないでください。無線 LAN の通信が出来なかったり、不安定になる場合があります。

## 取り扱いに関する注意

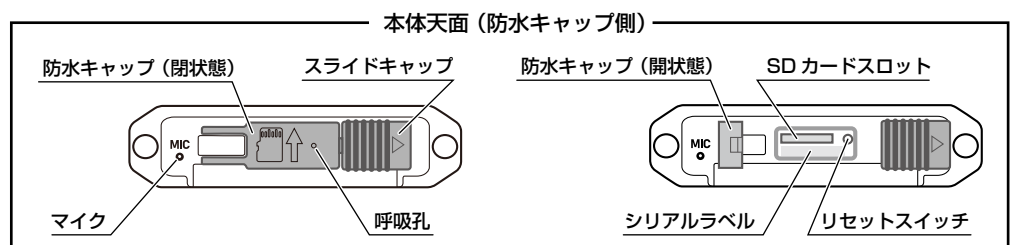
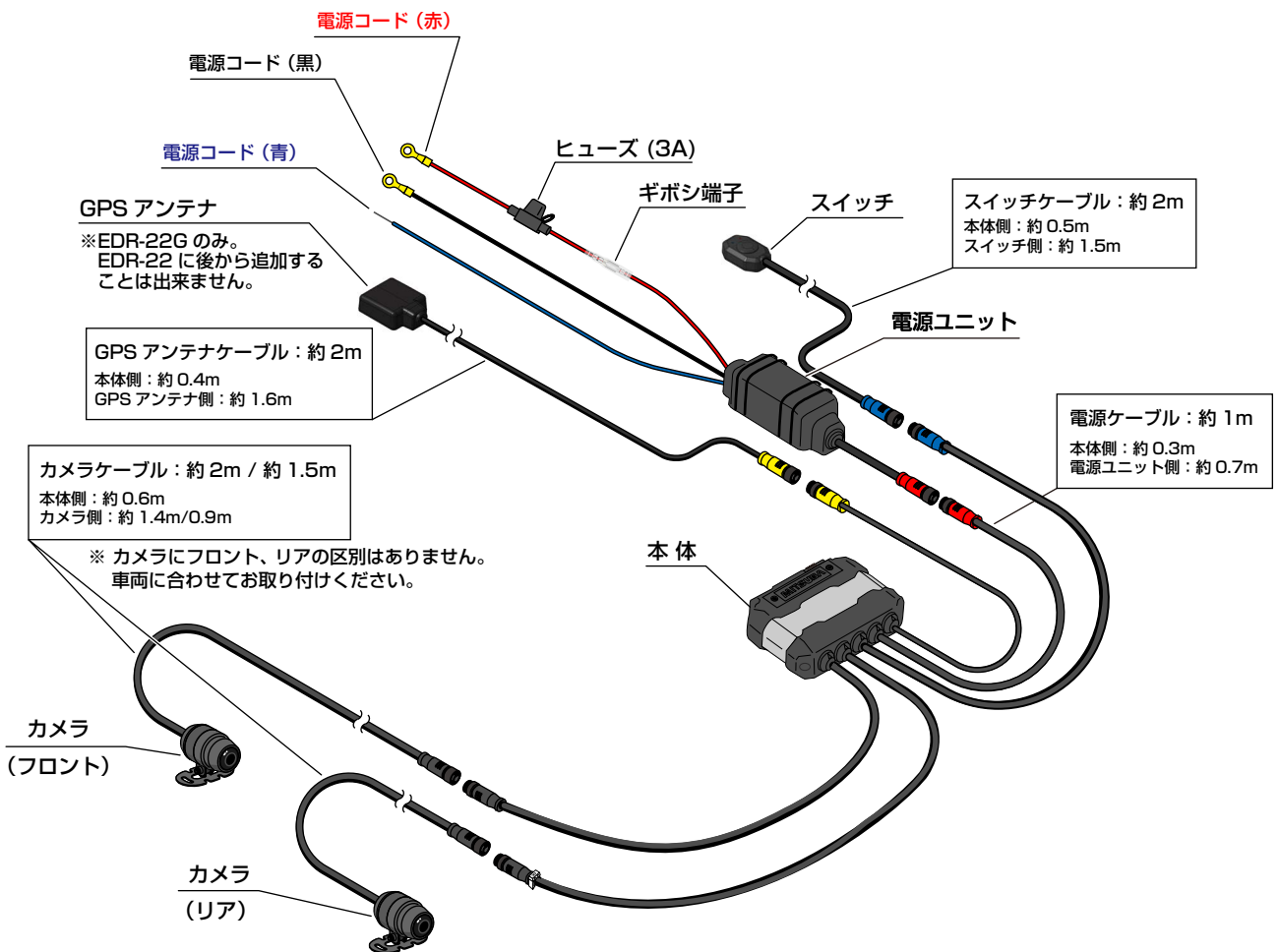
- ・バイクを長期間使用しない場合は、バッテリーのプラスから電源ケーブルの赤コードまたは中継コネクタを外してください。バッテリー上がりの原因となります。また中継コネクタを外した際は、ビニールテープ等でコネクタ部を絶縁処理してください。故障の原因となります。
- ・バッテリー交換やバッテリー端子を外した場合、初期時刻 (2022 年 1 月 1 日) にリセットされます。使用の際は、再度専用スマートフォンアプリにて時刻同期をおこなってください。
- ・中継コネクタを抜き差しする際は、コネクタ部を手で持ち、向きに注意しておこなってください。断線や端子の破損、故障の原因となります。
- ・本品を落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えないでください。破損や故障の原因となります。
- ・洗車をする際に高圧洗浄機やホースを細く絞った高圧水を本品 (本体、カメラ、スイッチ、GPS アンテナ、コネクタ部) に直接かけないでください。浸水や故障の原因となります。
- ・本品 (本体、カメラ、スイッチ、GPS アンテナ、各種ケーブル・コード類) を清掃する際は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすったり、ベンジンやシンナー等の溶剤や研磨剤を使用したりすると、部品の傷つきや劣化、破損、故障の原因となります。
- ・本体天面のマイク孔に棒状のものを挿し込まないでください。浸水や故障の原因となります。
- ・防水キャップにある呼吸孔へ棒状のものを挿し込んだり、呼吸孔をふさがないでください。浸水や故障の原因となります。
- ・本体の防水キャップは、開いた状態で使用せず、スライドキャップで確実にロックをしてください。浸水や故障の原因となります。
- ・本体のリセットスイッチを操作する際は、強い力で押し込まないでください。破損や故障の原因となります。
- ・本体の SD カード挿入口に貼り付けているシリアルラベルは、絶対にはがさないでください。修理や交換等の保証を受けられなくなります。

# EDR-22G 構成部品

お取り付けの前に、すべての部品が揃っているか確認してください。

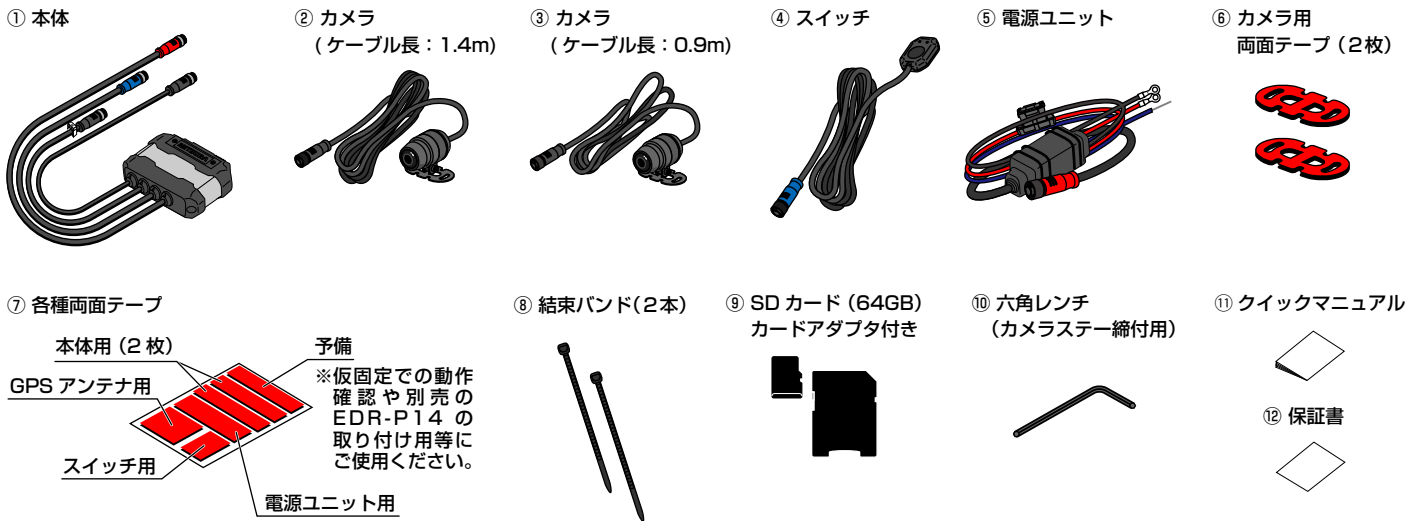


# EDR-22G 各部の名称・他

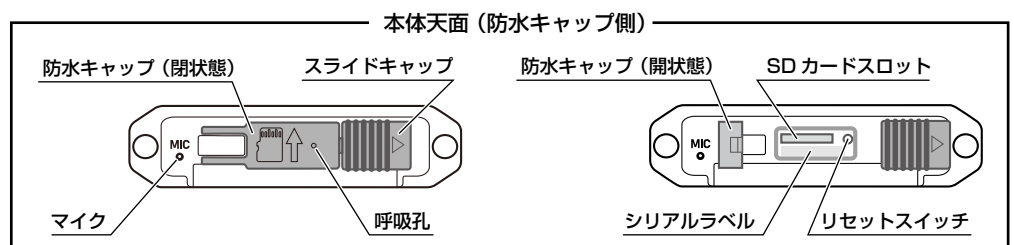
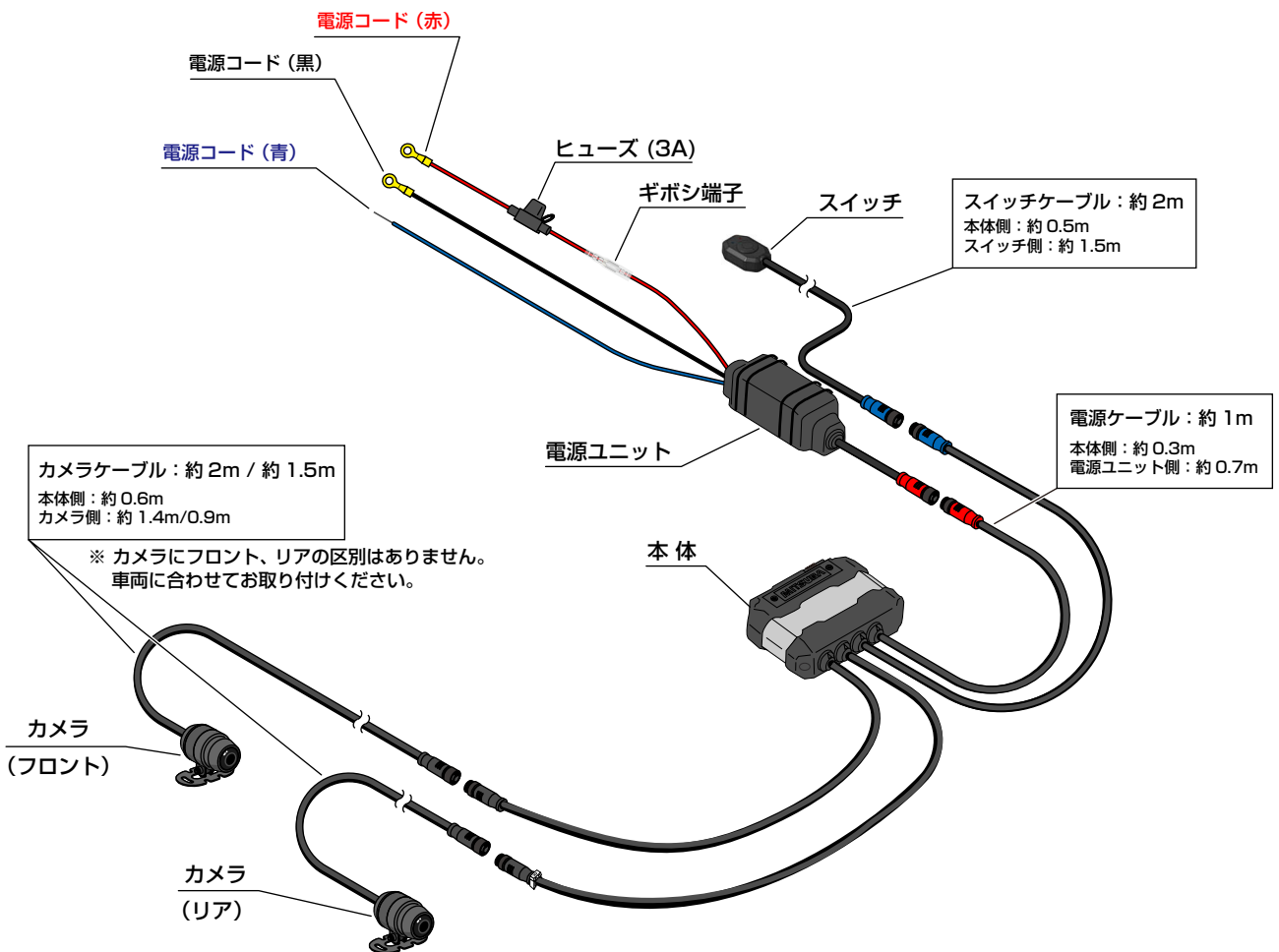


# EDR-22 構成部品

お取り付けの前に、すべての部品が揃っているか確認してください。



# EDR-22 各部の名称・他



# ■ SD カードの注意\*

## ● SD カードの安全上の注意



- ・SD カードは、子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んでしまった場合には、直ちに医師に相談してください。
- ・SD カードを曲げたり、強い衝撃を与えたり、荷重をかけたりしないでください。火災や火傷、故障の原因となります。
- ・濡れた手で、SD カードの抜き挿しはおこなわないでください。火災や感電、故障の原因となります。

## ● SD カードの取り扱いに関する注意



- ・SD カードの抜き挿しは、必ず本品の電源が OFF (IG OFF) の状態でおこなってください。ファイル破損や故障の原因となります。
- ・SD カードは、決まった方向でしか挿入出来ません。誤った向きで無理に挿入しないでください。本体及び SD カードの破損、故障の原因となります。
- ・カードリーダーは、使用する SD カードの規格に応じたものを使用してください。ファイル破損や故障の原因となります。
- ・定期的に SD カードのフォーマットをしてください。定期的にフォーマットをおこなわないと、データの断片化が進み、SD カード異常表示が起こりやすくなります。
- ・SD カードのフォーマットをおこなうと、SD カード内すべてのファイルが消去されます。必要なファイルは、事前にスマートフォンや PC 等にファイルをコピーしてください。
- ・SD カードに本品以外のデータを入れないでください。SD カード異常表示や動作不良の原因となります。
- ・SD カードは消耗品ですので、定期的に新しい SD カードへ交換してください。SD カードは繰り返しデータを書き込むことで劣化が進み、正常に録画出来なくなったり、フォーマット出来なくなったりします。
- ・本品の使用や故障によってじた損害（記録された映像やデータの消失、損傷、破損など）について、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 本書では特に断りのない場合、microSDHC カード及び microSDXC カードを『SD カード』と標記しています。

# ■ SD カードについて<sup>※1</sup>

- 本品には、付属の SD カードまたは弊社製 SD カードをご使用ください。

SD カードを新たに購入される場合には、オプション設定している弊社製 SD カードをおすすめします。

商品の詳細については、下記 URL または二次元コードからご確認ください。

[https://www.mskw.co.jp/motorcycle/edr/option#div\\_02](https://www.mskw.co.jp/motorcycle/edr/option#div_02)



- 付属の SD カード及び弊社製 SD カード以外のものを使用される場合は、以下条件の SD カードをご使用ください。<sup>※2</sup>

記憶媒体	microSDHC / microSDXC
容 量	8 ~ 256GB
スピードクラス <sup>※3</sup>	Class 10 / U1 / U3
フォーマット形式 <sup>※4</sup>	8 ~ 256GB : FAT32
	アロケーションユニットサイズ : 64KB

- ※1 本書では特に断りのない場合、microSDHC カード及び microSDXC カードを『SD カード』と標記しています。
- ※2 条件を満足しない他社製 SD カードを使用した場合、正しく動作しない場合があります。
- ※3 スピードクラスとは、連続書き込みに関する速度の規格です。
- ※4 他社製 SD カードを初めて使用される際は、必ず本品でフォーマットをおこなってください。本品でフォーマットせずに使用されると、SD カード異常表示をし、正常に起動しない場合があります。  
SD カードのフォーマット方法は、本書の 52 ページ「SD カードをフォーマットする」を参照してください。

# 録画時間の目安

各設定値による録画時間の目安は、下記の通りです。

SDカード 容量	ファイル区分	画像サイズ (画質 : HIGH)		
		1080P FHD	720P HD	VGA
16GB	常時録画 衝撃・手動録画	1時間 8分 17分	1時間 40分 25分	2時間 52分 43分
32GB	常時録画 衝撃・手動録画	2時間 16分 34分	3時間 24分 51分	5時間 44分 1時間 26分
64GB	常時録画 衝撃・手動録画	4時間 24分 1時間 6分	6時間 40分 1時間 40分	11時間 12分 2時間 48分
128GB	常時録画 衝撃・手動録画	8時間 52分 2時間 13分	13時間 20分 3時間 20分	22時間 28分 5時間 37分
256GB	常時録画 衝撃・手動録画	17時間 56分 4時間 29分	26時間 56分 6時間 44分	45時間 20分 11時間 20分

SDカード 容量	ファイル区分	画像サイズ (画質 : MID)		
		1080P FHD	720P HD	VGA
16GB	常時録画 衝撃・手動録画	1時間 24分 21分	2時間 4分 31分	3時間 28分 52分
32GB	常時録画 衝撃・手動録画	2時間 48分 42分	4時間 12分 1時間 3分	7時間 0分 1時間 45分
64GB	常時録画 衝撃・手動録画	5時間 28分 1時間 22分	8時間 12分 2時間 3分	13時間 40分 3時間 25分
128GB	常時録画 衝撃・手動録画	11時間 0分 2時間 45分	16時間 24分 4時間 6分	27時間 24分 6時間 51分
256GB	常時録画 衝撃・手動録画	22時間 16分 5時間 34分	33時間 8分 8時間 17分	55時間 16分 13時間 49分

SDカード 容量	ファイル区分	画像サイズ (画質 : LOW)		
		1080P FHD	720P HD	VGA
16GB	常時録画 衝撃・手動録画	1時間 48分 27分	2時間 44分 41分	4時間 28分 1時間 7分
32GB	常時録画 衝撃・手動録画	3時間 40分 55分	5時間 28分 1時間 22分	9時間 0分 2時間 15分
64GB	常時録画 衝撃・手動録画	7時間 12分 1時間 48分	10時間 40分 2時間 40分	17時間 32分 4時間 23分
128GB	常時録画 衝撃・手動録画	14時間 24分 3時間 36分	21時間 28分 5時間 22分	35時間 8分 8時間 47分
256GB	常時録画 衝撃・手動録画	29時間 4分 7時間 16分	43時間 20分 10時間 50分	70時間 52分 17時間 43分

※ 時間は目安であり、録画時間を保証するものではありません。

※ 被写体や周囲の環境などの要因により、録画時間は変化します。

# ■ 取り付け上の注意

お取り付けの前に、この「取り付け上の注意」をよくお読み頂き、正しくお取り付けください。



警告

- ・本品は、12V バッテリー搭載車専用です。6V 車やバッテリーレス車等へは、取り付けしないでください。火災や故障の原因となります。
- ・本品を車両に取り付ける際は、必ずエンジンキーを抜き、不用意にエンジンがかからない状態で作業をおこなってください。重大な事故の原因となります。
- ・本品は、運転操作や視界の妨げにならない場所、車両の各機能の妨げにならない場所に付けてください。事故や故障の原因となります。
- ・ケーブル類は、以下の項目に注意して配線し、ビニールテープや結束バンド等で脱落しないように固定してください。部品の脱落、火災や事故、故障の原因となります。
  - ・エンジン周辺等、高温になる場所に設置しない。
  - ・車両部品のバリや鋭利な部分に接触させない。
  - ・車両の可動部等への挟み込みや接触をさせない。
  - ・走行中に無理な力が加わらないよう、たるみを持たせる。
  - ・車両部品取り付け時に挟み込まない。
- ・両面テープを貼り付ける際は、無水アルコール等で貼り付け面の油分や汚れをよく拭き取り、完全に乾いてから貼り付けてください。また、貼り直しはおこなわないでください。部品の脱落や事故、故障の原因となります。



注意

- ・電源ケーブルの赤及び黒コードは、作業の最後にバッテリーへ接続してください。故障の原因となります。
- ・本品を取り付けする際は、保安基準で定められた車両の長さ、幅、高さ、または自動車検査証に記載される値に対する長さ(+3cm)、幅(+2cm)、高さ(+4cm)を超えないようにしてください。
- ・テスターで電圧を確認する場合を除き、安全のためバッテリーケーブルを外して作業をおこなってください。火災や故障の原因となります。  
バッテリーケーブルを安易に外すと車両のメーター内にエラー（自己診断エラー）が表示される場合がありますので、事前に車両の取扱説明書または車両メーカーへバッテリーケーブルの外し方をご確認ください。
- ・電源ケーブルは、必ず付属品をご使用ください。動作不良や故障の原因となります。
- ・本品（本体、カメラ、スイッチ、GPS アンテナ、各種ケーブル・コード類）は、エンジン周辺等、高温になる場所に設置しないでください。故障の原因となります。
- ・GPS アンテナは、金属や金属コーティングされた部品等が上部を覆わない場所で、他の車載電子機器から出来るだけ離して設置してください。GPS 電波を受信出来ず、測位出来なくなったりする場合があります。
- ・本体は金属で覆われていない場所で、他の車載電子機器から出来るだけ離して設置してください。金属や他の車載電子機器の影響で無線 LAN の通信が出来なかったり、不安定になったりする場合があります。
- ・シート下に本体や各ケーブルを収納する際は、乗車によるシートのたわみ等で圧迫されないようにクリアランスを確保してください。火災や故障、破損、断線の原因となります。
- ・中継コネクタを抜き挿しする際は、コネクタ部を手で持ち、矢印マークの位置を合わせて接続してください。断線や端子の破損、故障の原因となります。
- ・中継コネクタを接続する際は、コネクタ内部に水や異物が入らないように注意してください。浸水や故障の原因となります。
- ・ロックナットは、ロックナット間に隙間が発生しないように手で締め付けてください。工具等を使用したり、隙間が発生したりすると、破損や浸水、故障の原因となります。

# ■ 取り付け前の準備

## 1. 専用スマートフォンアプリ「Moto DR」を準備する

下記の二次元コードからアクセスして、スマートフォンにインストールしてください。  
※ インストールに伴う通信料は、お客様のご負担となります。

iPhone の方はこちら



Android の方はこちら



アドバイス

- ・公式アプリストアの検索画面から「**Moto DR**」で検索し、インストールすることも出来ます。

『Moto DR』のアプリガイドは、下記 URL または 二次元コードから、ご確認ください。

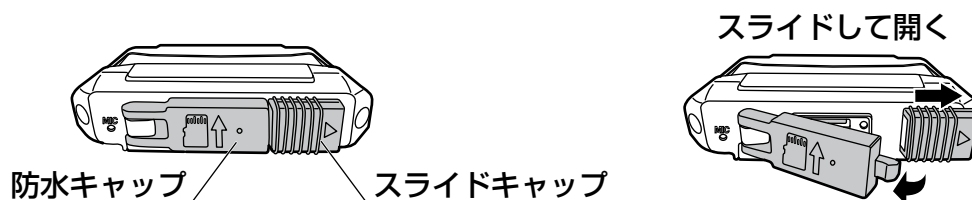
[https://www.mskw.co.jp/pdf/edr\\_howtomotodr.pdf](https://www.mskw.co.jp/pdf/edr_howtomotodr.pdf)



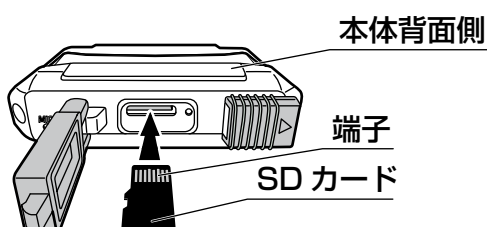
## ■ 取り付け前の準備 (つづき)

### 2. 本体に付属の SD カードを挿入する

- ① 防水キャップを抑えながらスライドキャップを外側にスライドさせ、防水キャップを開きます。



- ② SD カードの端子側が本体背面方向となるように「カチッ」と音がするまで挿入します。



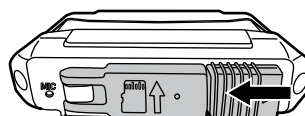
#### アドバイス

- ・防水キャップ表面に SD カードの挿入向きが記載されています。
- ・SD カードを抜くときは、SD カードを「カチッ」と音がするまで軽く押し込み、ゆっくり指を離すと SD カードを取り出せます。押し込んだ後に素早く指を離すと、SD カードが飛び出すことがありますので、注意してください。

- ③ 防水キャップを閉じます。

- ④ 防水キャップを抑えながらスライドキャップを内側にスライドさせ、ロックします。

スライドしてロックする



注意

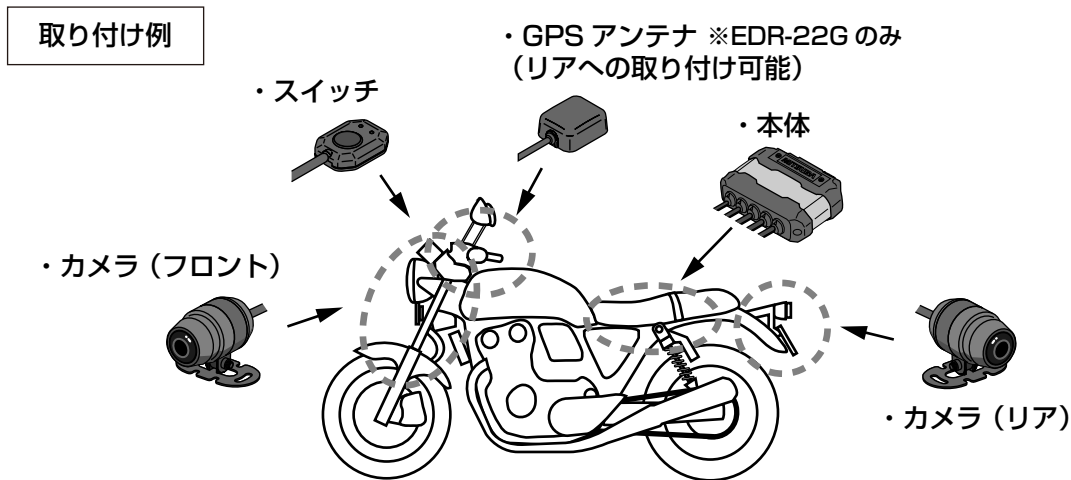
- ・SD カードの抜き挿しは、必ず本品の電源が OFF (IG OFF) の状態でおこなってください。ファイル破損や故障の原因となります。
- ・スライドキャップが、「カチッ」と音がするまでスライドさせてください。浸水、故障の原因となります。

以上で、「取り付け前の準備」の説明は終了です。

# ■ 取り付け手順

## 1. 各部位の取り付け位置を決める

各部位の取り付け位置を決めます。必要に応じ、車両の部品（シート等）を取り外します。



警告

・本品は、運転操作や視界の妨げにならない場所、車両の各機能の妨げにならない場所に取り付けてください。事故や故障の原因となります。



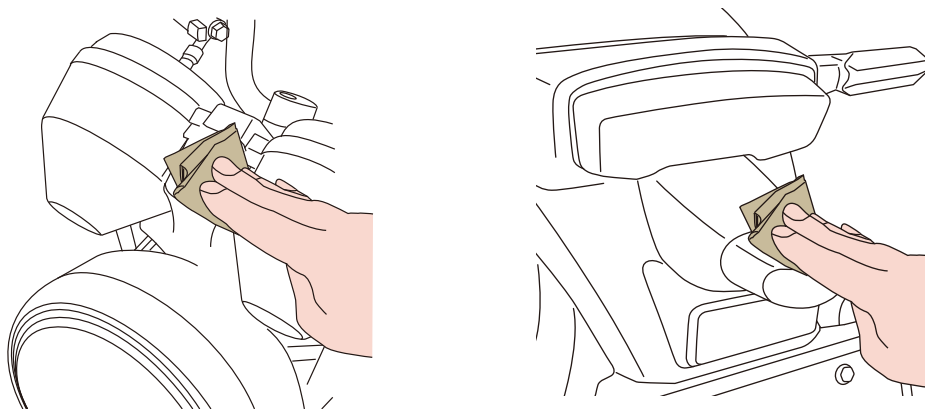
注意

・本品を取り付けする際は、保安基準で定められた車両の長さ、幅、高さ、または自動車検査証に記載される値に対する長さ (+3cm)、幅 (+2cm)、高さ (+4cm) を超えないようにしてください。・電源ケーブルは、必ず付属品をご使用ください。動作不良や故障の原因となります。

・本品 (本体、カメラ、スイッチ、GPS アンテナ、ケーブル・コード類) は、エンジン周辺等、高温になる場所に設置しないでください。故障の原因となります。

## 2. 車両側の部品取り付け場所を清掃する

両面テープで貼り付ける部分の油分や汚れを取り除くため、無水アルコール等でよく拭き取ります。



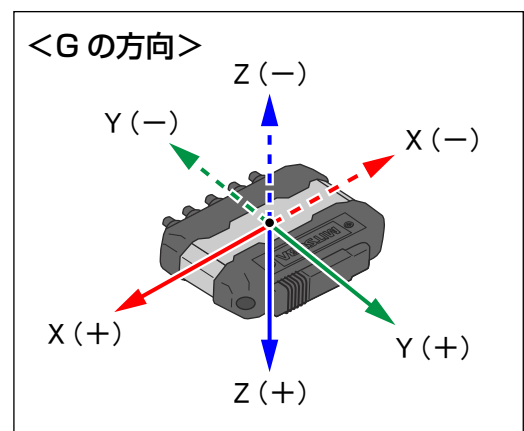
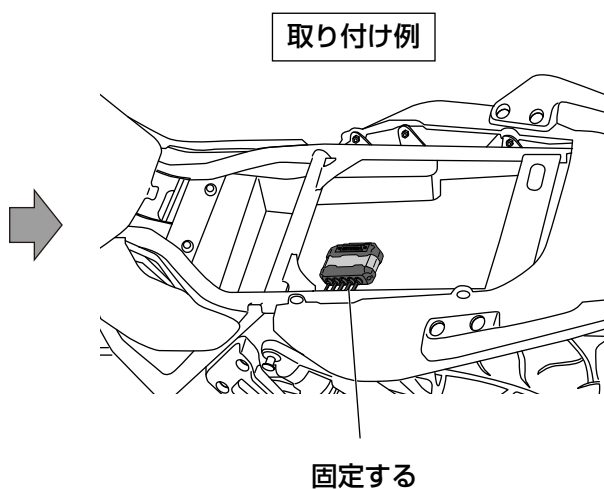
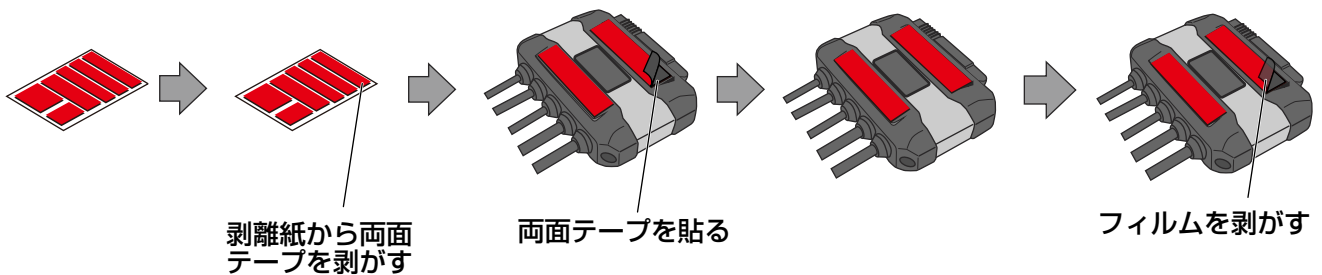
警告

・両面テープを貼り付ける際は、無水アルコール等で貼り付け面の油分や汚れをよく拭き取り、完全に乾いてから貼り付けてください。また、貼り直しはおこなわないでください。部品の脱落や事故、故障の原因となります。

## ■ 取り付け手順 (つづき)

### 3. 本体を車両に取り付ける

同梱の本体用両面テープ (2 枚) を本体に貼り付け、本体を車両に固定します。



#### 👉 アドバイス

- ・ 本体の取り付け姿勢に指定はありませんが、記録される G の方向は、本体の取り付け姿勢に従います。(上図参照)
- ・ 専用 PC ソフトによる G 表示は、本体の取り付け姿勢で記録された方向、数値となります。
- ・ 本体の防水キャップの開閉、SD カードの出し入れに支障がない場所に固定してください。
- ・ 本体の固定が不十分な場合、実際の走行と G センサーで測定した値や G の方向が一致しない場合があります。



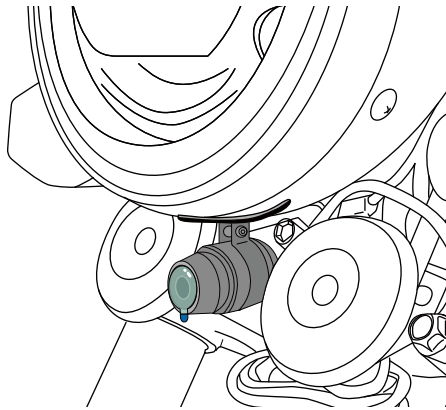
- ・ 本体は金属で覆われていない場所で、他の車載電子機器から出来るだけ離して設置してください。金属や他の車載電子機器の影響で無線 LAN の通信が出来なかったり、不安定になったりする場合があります。

## ■ 取り付け手順 (つづき)

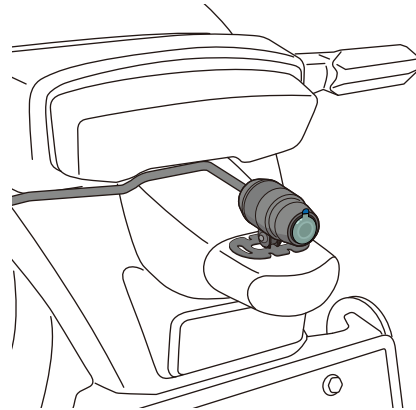
### 4. カメラ (フロント / リア) を車両に仮固定する

両面テープなどを使用し、設置したい場所にカメラを仮固定します。カメラの本固定は、カメラの角度調整後におこないます。

フロントカメラ取り付け例



リアカメラ取り付け例



#### アドバイス

- ・2つのカメラにフロント、リアの区別はありません。

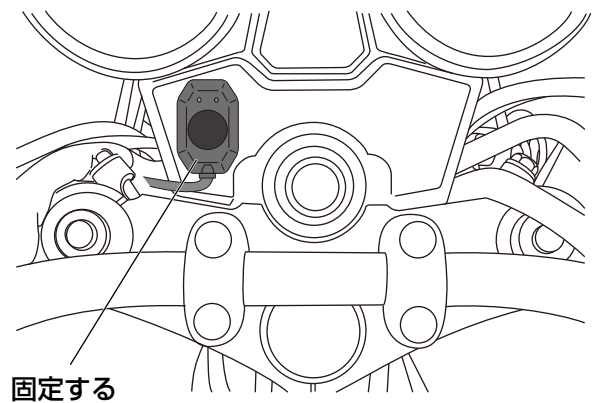
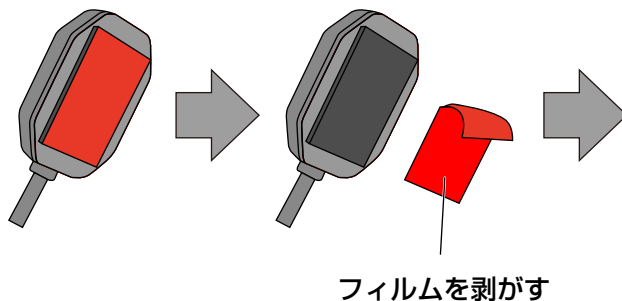


- ・ケーブルにねじれがないようにしてください。故障の原因となります。
- ・カメラが車両から落下しないように注意してください。カメラの損傷や故障、車両損傷の原因となります。

### 5. スイッチを車両に取り付ける

スイッチに貼り付けられている両面テープで、車両に固定します。

取り付け例

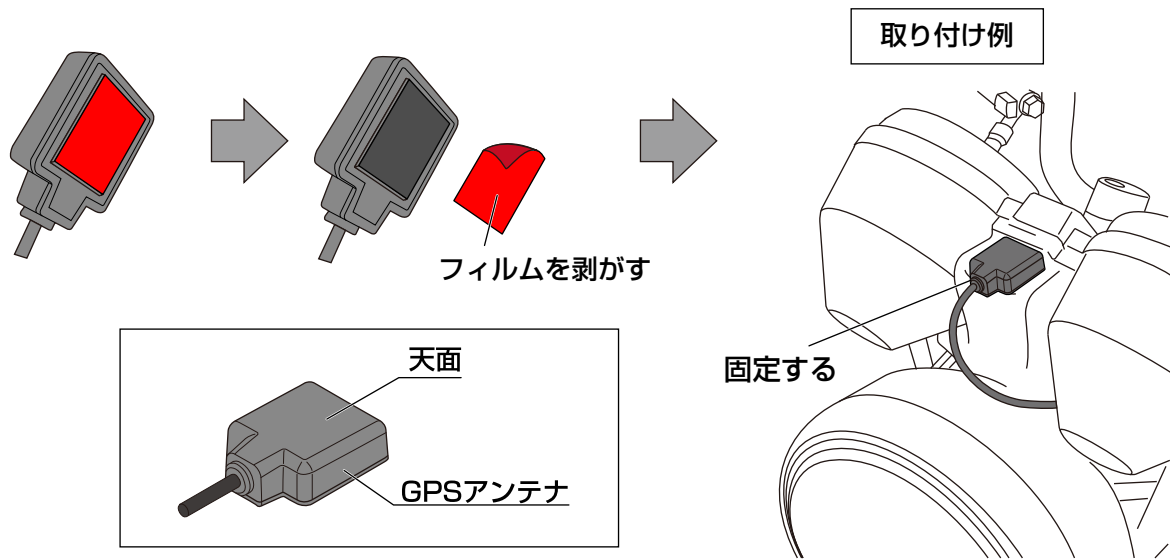


#### アドバイス

- ・運転操作に支障がなく、出来るだけ走行中にボタン操作をし易い場所に取り付けてください。

## ■ 取り付け手順 (つづき)

6. GPSアンテナを車両に取り付ける ※EDR-22Gのみ  
GPS アンテナに貼り付けられている両面テープで、車両に固定します。



### アドバイス

- ・GPS アンテナは、衛星からの電波を受信し易いように天面を上に向けて取り付けてください。

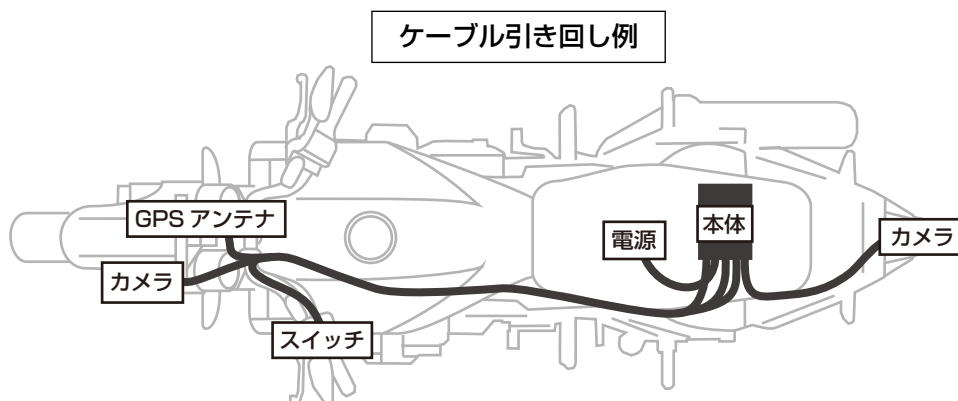


### 注意

- ・GPS アンテナは、金属や金属コーティングされた部品等が上部を覆わない場所で他の車載電子機器から出来るだけ離して設置してください。GPS 電波を受信出来ず、測位出来なくなったりする場合があります。

## 7. ケーブルの引き回し

各ケーブルを本体まで引き回します。



### 警告

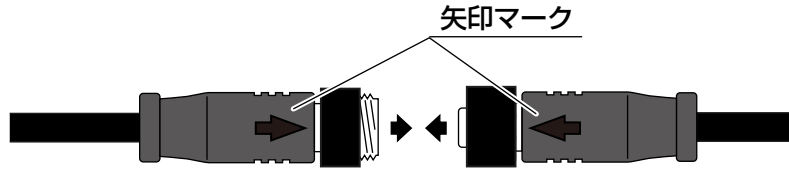
- ・ケーブル類は、以下の項目に注意して配線を引き回してください。火災や事故、故障の原因となります。
  - ・エンジン周辺等、高温になる場所に設置しない。
  - ・車両部品のバリや鋭利な部分に接触させない。
  - ・車両の可動部等への挟み込みや接触をさせない。
  - ・走行中に無理な力が加わらないよう、たるみを持たせる。
  - ・車両部品取り付け時に挟み込まない。

# ■ 取り付け手順 (つづき)

## 8. 中継コネクタを接続する

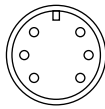
各ケーブルの中継コネクタを接続します。

- ① 接続するコネクタの色と PIN 配列を確認し、矢印マークの向きを合わせて接続します。



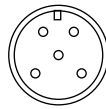
### 【参考】各ケーブルの中継コネクタ PIN 配列 (本体ケーブル側)

カメラ  
(6P)



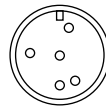
黒色

スイッチ  
(5P)



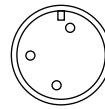
青色

GPSアンテナ  
(5P)



黄色

電源ユニット  
(3P)



赤色

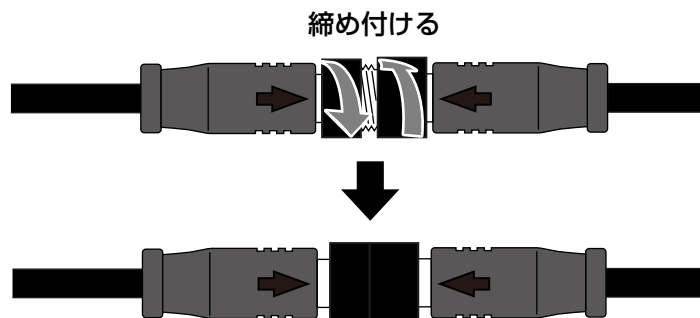
EDR-22Gのみ



注意

- ・中継コネクタを抜き挿しする際は、コネクタ部を手で持ち、矢印マークの位置を合わせて接続してください。断線や端子の破損、故障の原因となります。
- ・中継コネクタを接続する際は、コネクタ内部に水や異物が入らないように注意してください。浸水や故障の原因となります。

- ② 接続後、ロックナットを締め付けます。



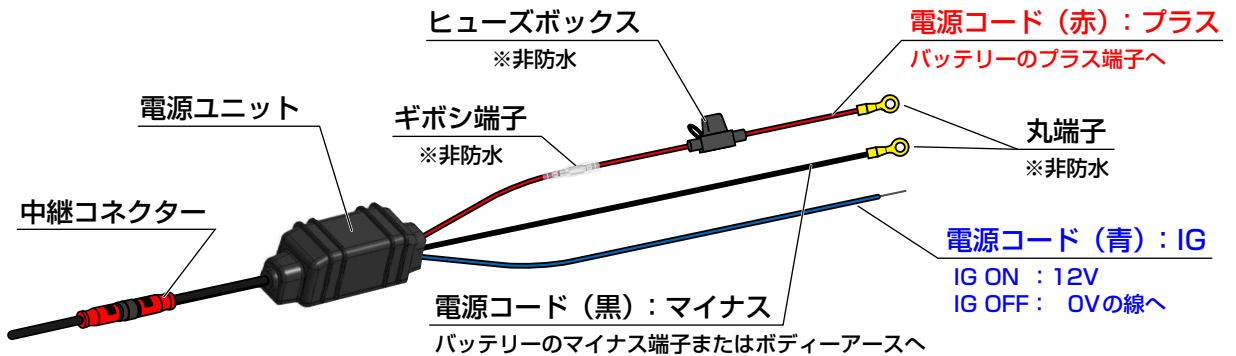
注意

- ・ロックナットは、ロックナット間に隙間が発生しないように手で締め付けてください。工具等を使用したり、隙間が発生したりすると、破損や浸水、故障の原因となります。

# ■ 取り付け手順 (つづき)

## 9. 電源ユニットの取り付け

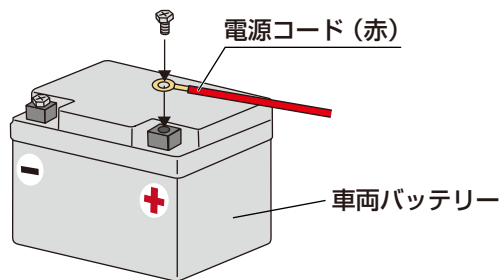
電源ユニットの3本のコードを車両に接続します。



### アドバイス

- ・電源コードは、3本すべてを接続しないと動作しません。必ず接続してください。

### ① 電源コード (赤) の丸端子をバッテリーのプラス端子に接続してください。



### アドバイス

- ・設定した時刻を保持するために電源コード (赤) は必ずバッテリーのプラス端子へ接続してください。



### 注意

- ・バッテリーケーブルを安易に外すと車両のメーター内にエラー (自己診断エラー) が表示される場合がありますので、事前に車両の取扱説明書または車両メーカーへバッテリーケーブルの外し方をご確認ください。
- ・電源コード (赤) に取り付けられているヒューズボックスは、非防水です。水のかからない場所に設置してください。故障の原因となります。

### ② 電源コード (青) を車両のイグニッションキーが ON のときに 12V、OFF のときに 0V となる線に接続してください。

- イグニッションキーが ON のとき

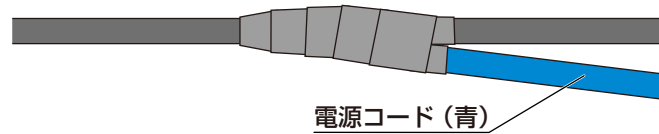


- イグニッションキーが OFF のとき



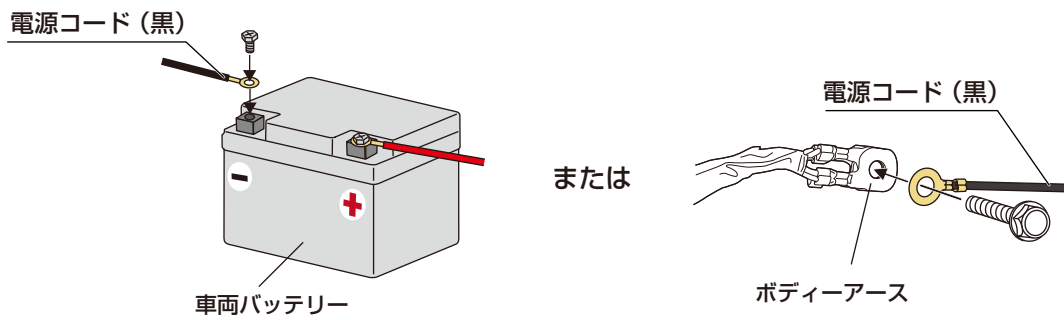
## ■ 取り付け手順 (つづき)

- ③ ②で接続した部分をビニールテープ等で絶縁、防水処理します。



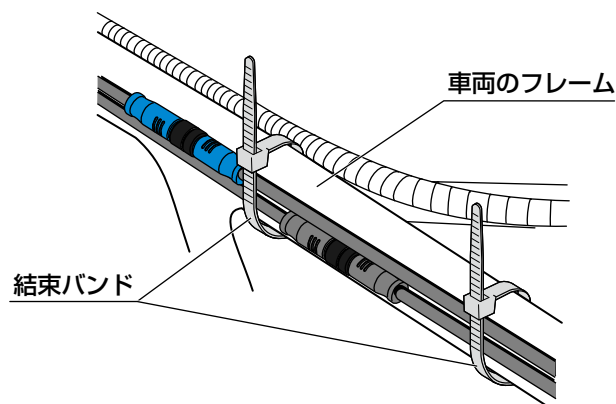
- ・電源コード(青)の接続は、接触不良が起こらないように半田付け等で確実に接続してください。動作不良や故障の原因となります。

- ④ 電源コード(黒)の丸端子をバッテリーのマイナス端子または、ボディーアースへ接続してください。



- ・ボディーアースへ接続する際は、車両メーカーにご確認頂き、指定のアースポイントに接続してください。動作不良や故障の原因となります。

- ⑤ 電源ケーブルを結束バンドやビニールテープ等で車両に固定します。



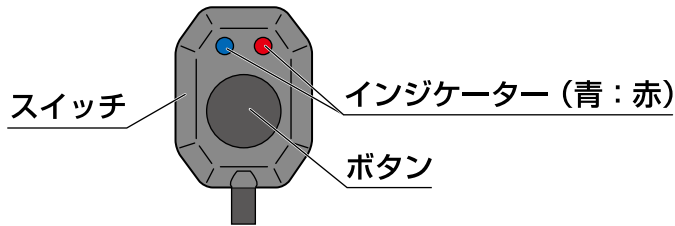
- ・シート下に本体や各ケーブルを収納する際は、乗車によるシートのたわみ等で圧迫されないようにクリアランスを確保してください。火災や故障、破損、断線の原因となります。

# ■ 取り付け手順 (つづき)

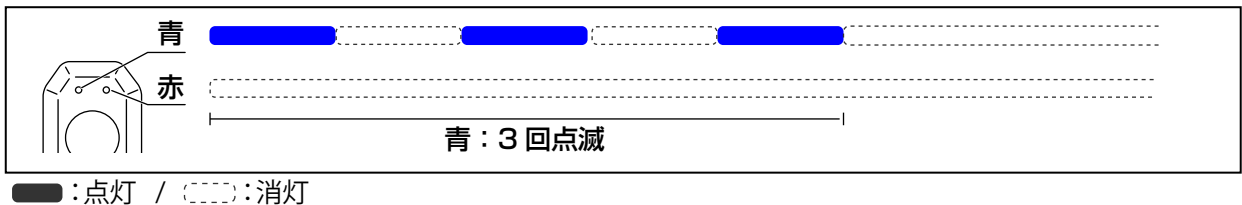
## 10. 仮固定したカメラの角度調整と本固定をする

- ① カメラの撮影角度を調整するため、スマートフォンにカメラ映像を表示します。下記手順にてスマートフォンと本体を無線 LAN で接続してください。

- (1) 車両のイグニッションキーを IG ON にし、EDR 本体の電源を ON にします。
- (2) 数秒後に本体のシステムチェックが実行されます。スイッチのインジケータは、下記パターンで表示します。

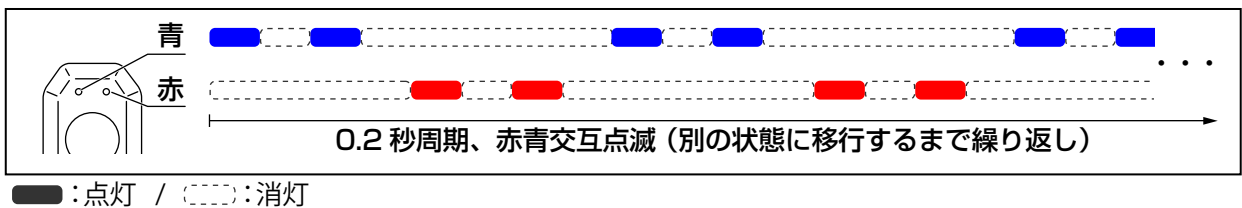


### ● システムチェック中

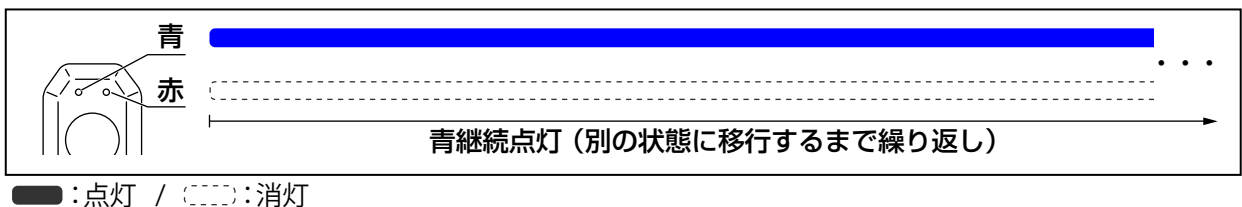


- (3) システムチェック完了後、常時録画を開始します。スイッチのインジケータは、下記パターン (時刻非同期状態または時刻同期状態) で表示します。

### ● 常時録画中 (時刻非同期状態)

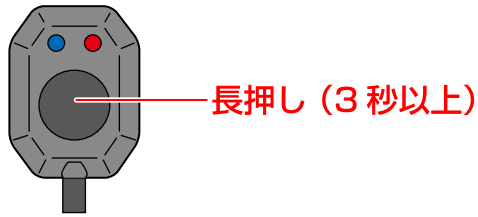


### ● 常時録画中 (時刻同期状態)

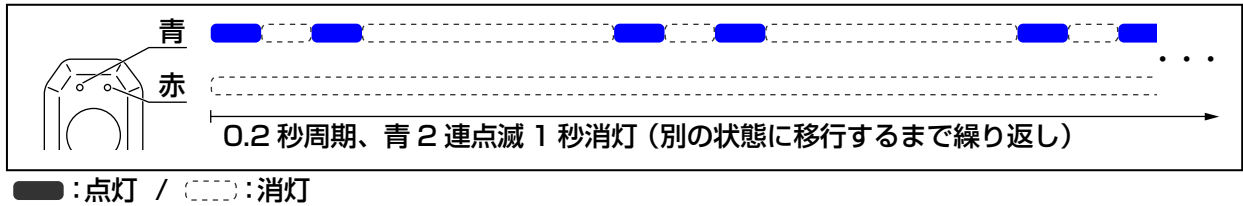


## ■ 取り付け手順 (つづき)

(4) スイッチのボタンを**長押し (3 秒以上)** し、無線 LAN モードを ON にします。



### ● 無線 LAN モード (接続待機中)



### アドバイス

- ・ ボタンを押す時間が短い場合、短押しとなり手動録画 (青点滅) が開始されます。常時録画状態になってから、もう一度ボタンを**長押し (3 秒以上)** してください。
- ・ **無線 LAN モード中は、録画を停止します。**

(5) スマートフォン本体の無線 LAN を ON にし、EDR 本体と無線 LAN 接続します。接続方法は、お使いのスマートフォンにより異なります。該当するスマートフォンの接続手順を下記より確認してください。

- ・ 39 ~ 43 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)」
- ・ 44 ~ 47 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)」

(6) アプリ TOP 画面の「設定」をタップします。

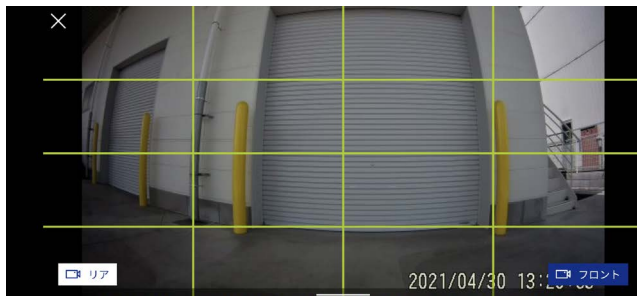


## ■ 取り付け手順 (つづき)

(7) 設定画面の機能タブの項目から「撮影角度の確認」をタップします。



(8) カメラ映像が表示されます。



※ スマートフォンの映像は、遅れて表示されます。

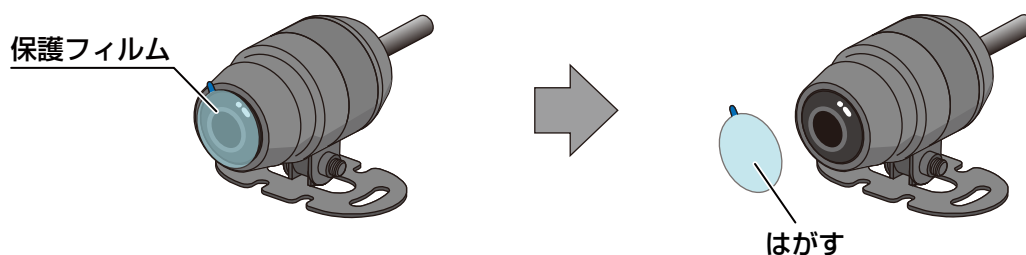


### アドバイス

- ・画面下の「リア」、「フロント」ボタンをタップすると、カメラ（フロント／リア）の表示を切り替えることができます。
- ・表示されている「×」、「リア」、「フロント」ボタン以外の画面をタップすると、ボタンの表示、非表示を切り替えることができます。

② カメラ映像が表示されたら、スマートフォンを横にし、映像を確認しながら、カメラの取り付け角度を調整します。

(1) カメラのレンズに貼られている保護フィルムをはがします。



### アドバイス

- ・カメラのレンズに貼られている保護フィルムは、梱包輸送時による傷つきを防止するものです。取り付け後は必ずはがしてください。

## ■ 取り付け手順 (つづき)

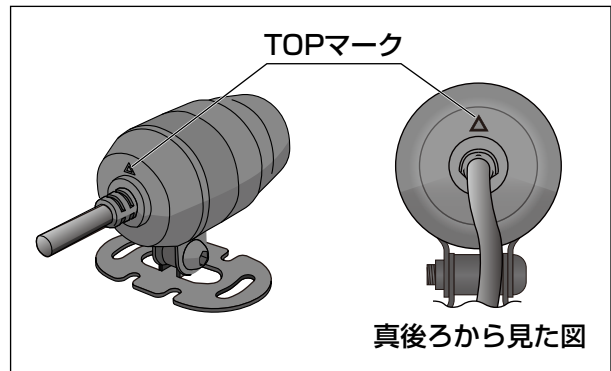
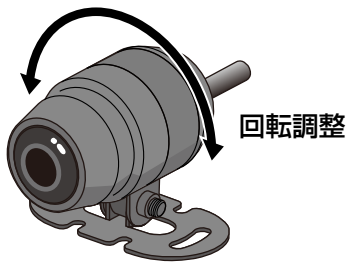
(2) カメラが動かせる程度にカメラステーのねじを付属の六角レンチで緩めます。



・ネジを緩め過ぎないでください。ネジが外れ、部品紛失の原因となります。

(3) カメラ後部の TOP マーク (△) が、車両に取り付けた状態で上になるようにカメラを回転させます。

カメラ調整方向

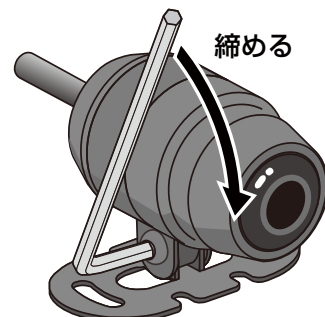
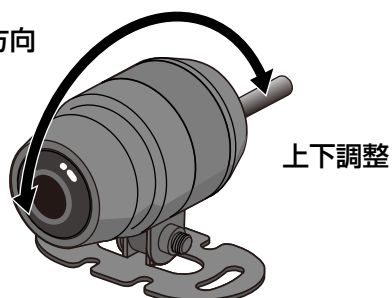


・ケーブルにねじれがないようにしてください。故障の原因となります。

(4) 撮影する方向にカメラのレンズが向くように上下を調整します。

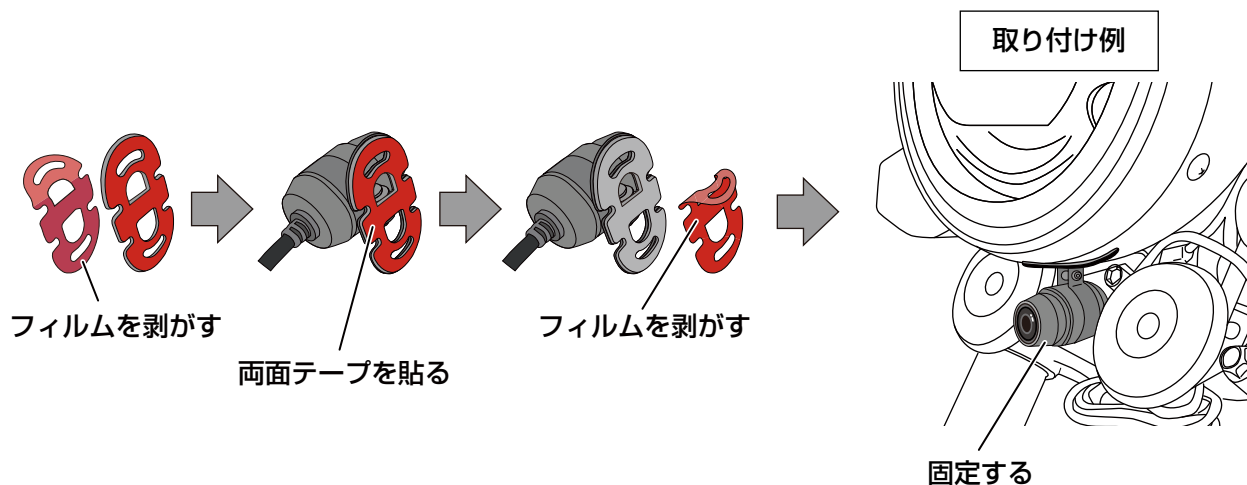
(5) 調整が終わったら、カメラステーのねじを六角レンチで締め付けて固定します。

カメラ調整方向



## ■ 取り付け手順 (つづき)

- (6) 調整が終了したら、カメラステーに同梱のカメラ用両面テープを貼り付け、カメラを車両に本固定します。



警告

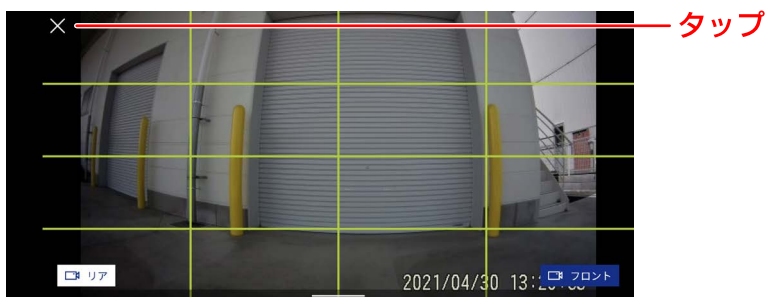
・両面テープを貼り付ける際は、無水アルコール等で貼り付け面の油分や汚れをよく拭き取り、完全に乾いてから貼り付けてください。また、貼り直しはおこなわないでください。部品の脱落や事故、故障の原因となります。



注意

・カメラが車両から落下しないように注意してください。カメラの損傷や故障、車両損傷の原因となります。

- ③ カメラの角度調整が完了したら、画面左上の「×」ボタンをタップし、「撮影角度の確認」を終了します。



- ④ スマートフォンを操作し、専用スマートフォンアプリ「Moto DR」を終了します。
- ⑤ スイッチのボタンを短押しし、スマートフォンとEDR本体の無線LAN接続を解除します。インジケータが数秒間消灯後、システムチェックを開始します。システムチェック終了後、常時録画中の表示（青継続点灯）に変わります。
- ⑥ 車両のイグニッションキーをOFFにします。

# ■ 取り付け手順 (つづき)

## 11. 各ケーブルの固定

結束バンドやビニールテープ等を使用し、車両に固定します。カメラケーブルについては、カメラに近い位置でケーブルを固定してください。



### アドバイス

- ・万一、カメラが脱落した場合、運転に支障がないようにするための固定です。

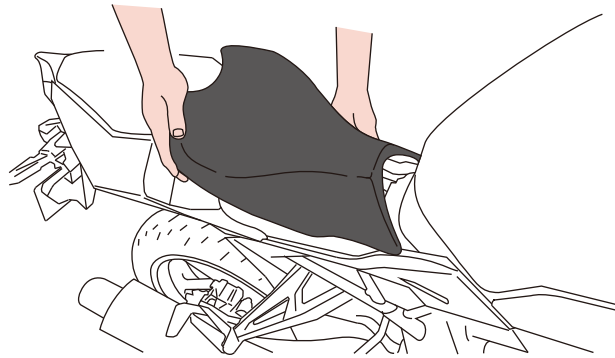


### 警告

- ・ケーブル類は、以下の項目に注意し、ビニールテープや結束バンド等で脱落しないように固定してください。部品の脱落や火災、事故、故障の原因となります。
- ・エンジン周辺等、高温になる場所に設置しない。
- ・車両部品のバリや鋭利な部分に接触させない。
- ・車両の可動部等への挟み込みや接触をさせない。
- ・走行中に無理な力が加わらないよう、たるみを持たせる。
- ・車両部品取り付け時に挟み込まない。

## 12. 取り外した車両部品の取り付け

- ① 車両から取り外した部品がある場合は、取り外した部品を取り付けます。

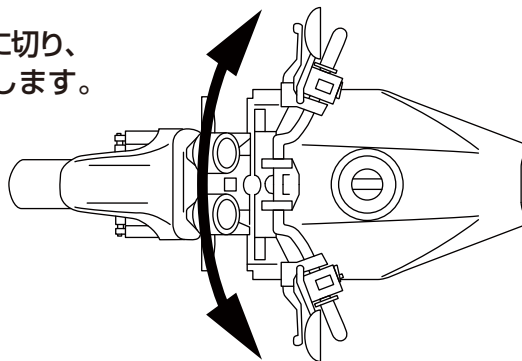


### 警告

- ・車両から取り外した部品（シート等）を取り付ける際に、挟み込みなどでケーブルを傷付けないようにしてください。部品の脱落や火災、事故、故障の原因となります。

- ② 車両の各種操作や機能、動作等に支障がないことを確認します。

ハンドルを左右方向へいっぱい切り、操作に支障がないことを確認します。



以上で、「取り付け手順」の説明は終了です。

## ■ 取り付け後の初期設定

---

取り付けを完了したら、専用スマートフォンアプリ「Moto DR」を使用して、初期設定をおこないます。

- ① 時刻同期をおこないます。(51 ページ「時刻同期をする」を参照してください)
- ② SD カードをフォーマットします。(52 ページ「SD カードをフォーマットする」を参照してください)



### アドバイス

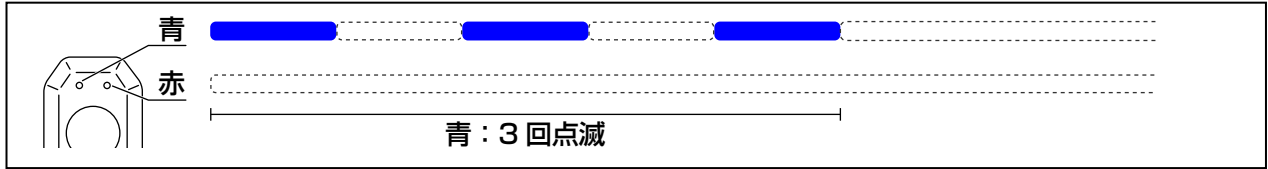
- ・商品に付属の SD カード (MITSUBA) は、フォーマット不要です。市販品を使用される場合は、必ずフォーマットをおこなってください。

以上で、「取り付け後の初期設定」の説明は終了です。

# ■ 常時録画

- ① 車両のイグニッションキーを IG ON にすると、本体の電源が ON になります。
- ② 電源が ON になると、数秒後に本体のシステムチェックが実行されます。  
システムチェック中のインジケータは、下記パターンで点灯します。

## ● システムチェック中



■：点灯 / ( )：消灯

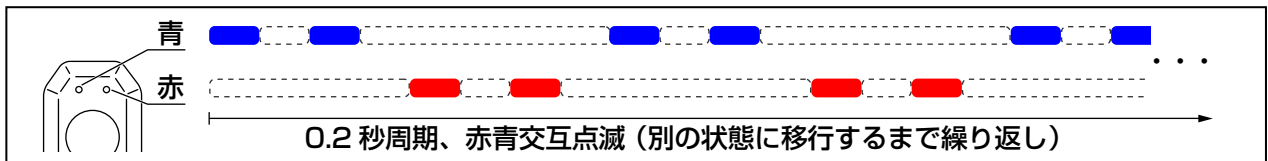


## アドバイス

- ・システムチェックにより異常があった場合、インジケータで本体の異常を表示します。その場合には、32～34 ページ「インジケータ表示一覧」と 62～64 ページ「こんなときは-Q&A-」を確認し、異常原因の処置をおこなってください。

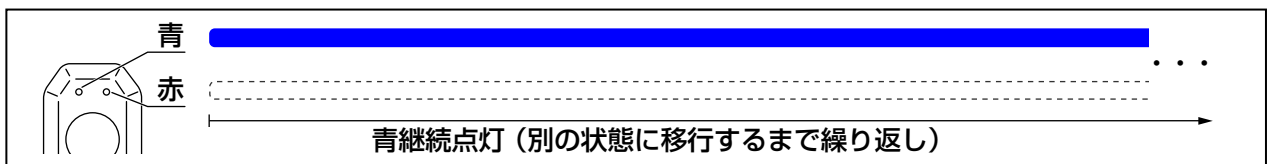
- ③ システムチェックが正常に完了すると、常時録画を開始します。  
常時録画中のインジケータは、時刻の同期 / 非同期状態で点灯パターンが異なります。

## ● 常時録画中（時刻非同期状態）



■：点灯 / ( )：消灯

## ● 常時録画中（時刻同期状態）



■：点灯 / ( )：消灯

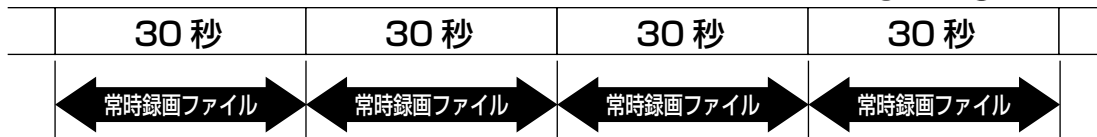


## アドバイス

- ・時刻非同期状態の場合は、専用スマートフォンアプリ「Moto DR」を使用し、無線 LAN 接続後に時刻同期をおこなってください。時刻同期の方法は、51 ページ「時刻同期をする」を参照してください。
- ・EDR-22G は、GPS 電波を受信することで、自動で時刻同期をおこないます。電波の受信状態によって、時刻同期出来ないことや時刻同期するまでに時間がかかる場合があります。

## ■ 常時録画の保存方法

1 ファイル 30 秒で録画し、常時録画ファイルとして保存します。



### アドバイス

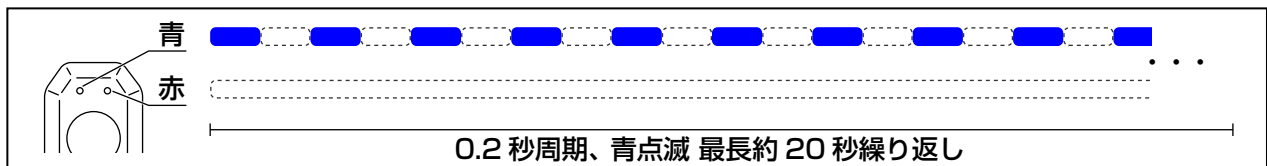
- ・録画中に無線 LAN モードへ切り替えたときや電源を OFF にしたときは、その時点で録画を停止するため、1 ファイルが 30 秒に満たない状態でファイル保存されます。

## ■ イベント録画（衝撃録画）

常時録画中に衝撃を検知した際、衝撃検知前後の録画ファイルを「衝撃録画ファイル」として保存する機能です。

- ① 常時録画中に設定以上の衝撃を検知したとき作動します。衝撃録画中のインジケータは、下記パターンで点灯します。

### ● 衝撃録画中



■ : 点灯 / (---) : 消灯



### アドバイス

- ・衝撃録画中は、重複して衝撃録画及び手動録画をおこなうことは出来ません。手動録画中に衝撃を検知した場合、衝撃録画ファイルとして保存します。

- ② 約 15 秒後、衝撃録画が終了し、自動で常時録画を再開します。



### アドバイス

- ・自動で常時録画に切り替わるため、スイッチ操作をおこなう必要はありません。
- ・イベント録画ファイルを上書き保存しているときは、最大約 20 秒点滅します。

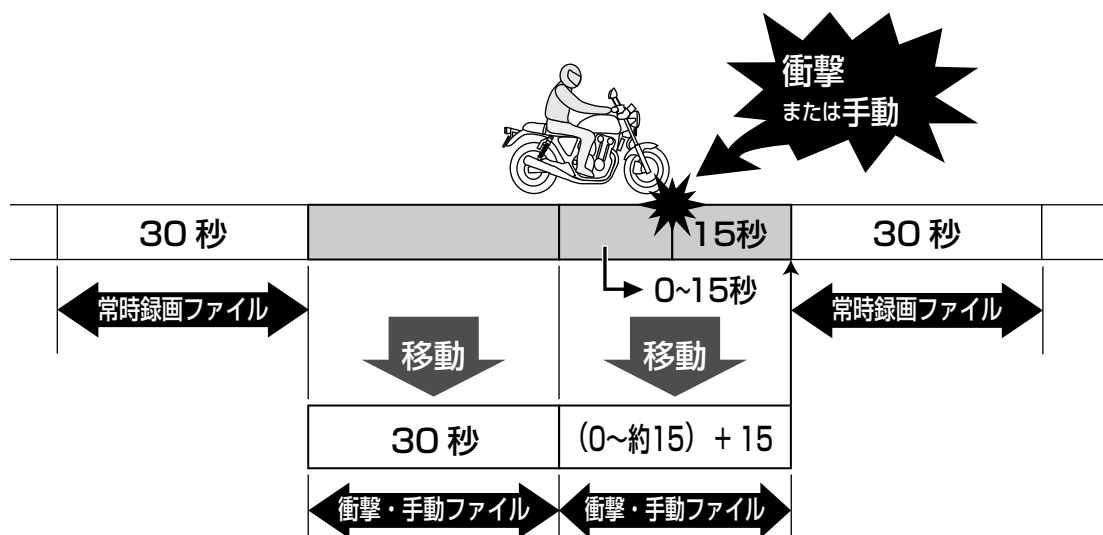


# ■ イベント録画（衝撃録画・手動録画）の保存方法

衝撃録画及び手動録画は、イベント発生タイミングによって、ファイルの保存方法が異なります。

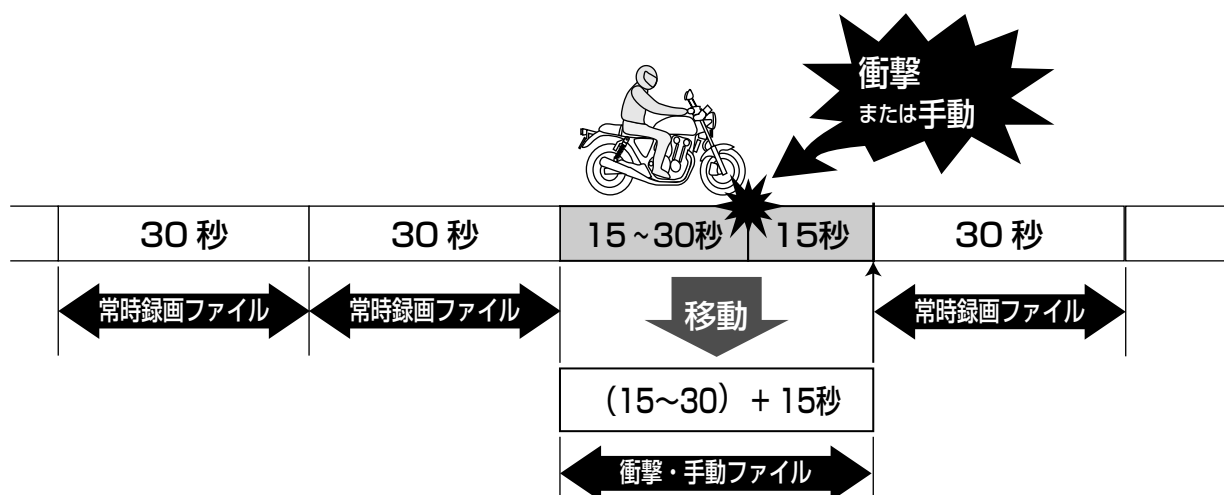
## CASE 1

録画中ファイルの開始 15 秒未満にイベントが発生した場合、イベント発生直前の常時録画ファイル（30 秒）と録画中のファイルにイベント発生後の 15 秒間を録画（15 秒～約 30 秒）し、「衝撃録画ファイル」または「手動録画ファイル」として、2 つのファイルに保存します。



## CASE 2

録画中ファイルの開始 15 秒以降にイベントが発生した場合、録画中のファイルとイベント発生後の 15 秒間を「衝撃録画ファイル」または「手動録画ファイル」として、1 つのファイル（30 ～ 45 秒）に保存します。

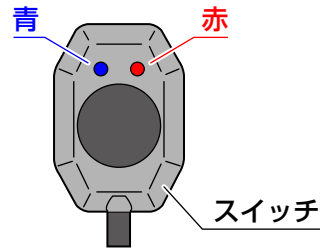


### アドバイス

- ・ 衝撃録画及び手動録画中に電源を OFF にした場合、電源を OFF にした時点で録画を停止するため、電源 OFF まで録画したファイルを保存します。
- ・ 手動録画中に衝撃を検知した場合、衝撃録画ファイルとして保存します。

# インジケータ表示一覧

インジケータの表示と表示内容について、説明します。



## ●録画停止中の状態表示

インジケータ表示	状態	備考
青 赤  周期 0.5秒周期、青点滅 時間 約3秒間	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムチェック中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源 ON 後にシステムチェックをおこないます。</li> <li>無線 LAN モード OFF 後にシステムチェックをおこないます。</li> </ul>
青 赤  周期 0.2秒周期青点滅、1秒消灯 時間 別の状態に移行するまで繰り返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線 LAN モード接続待機中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンからの無線 LAN 接続を待機しています。</li> </ul>
青 赤  周期 0.5秒点灯、0.2秒消灯、赤青交互点滅 時間 別の状態に移行するまで繰り返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線 LAN モード接続中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンと無線 LAN 接続しています。</li> </ul>
青 赤 赤青消灯 周期 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源 OFF</li> <li>システムチェックで SD カード未検出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>録画は、停止しています。</li> </ul>
青 赤 赤青消灯 周期 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>モード切替中 (無線 LAN モードから常時録画切替時など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5～6秒消灯することがあります。</li> </ul>

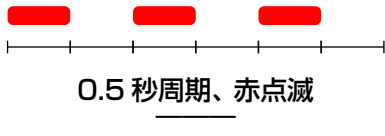
## ●録画中の状態表示一覧

インジケータ表示	状態	備考
青 赤  周期 青継続点灯 時間 別の状態に移行するまで繰り返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>常時録画中</li> <li>電源 OFF 後の録画ファイル書き込み動作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常時録画中です。</li> <li>電源 OFF 後、しばらく点灯して消灯します。</li> </ul>
青 赤  周期 0.2秒周期、赤青交互点滅 時間 時刻同期するまで継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>常時録画中</li> <li>時刻非同期状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻は、実際の時刻と異なります。</li> <li>時刻同期が、おこなわれていない状態です。</li> </ul>
青 赤  周期 0.2秒周期、青点滅 時間 最長約20秒繰り返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>手動録画中</li> <li>衝撃録画中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手動録画、衝撃録画中に電源を OFF すると、青点灯後に消灯します。</li> </ul>

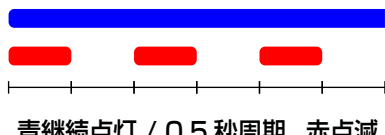

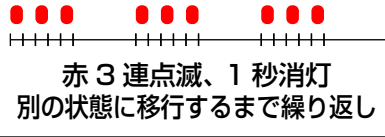
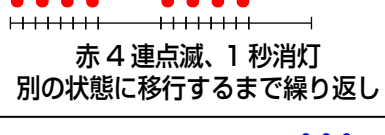
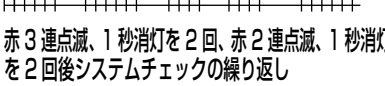
# インジケータ表示一覧 (つづき)

異常が発生した場合の処置方法は、62～64 ページ「こんなときは -Q&A-」を参照してください。

## ● 異常発生時の状態表示


インジケータ表示	状態	備考
青 赤  0.5 秒周期、赤点滅 周期 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>SD カード異常</li> <li>常時録画の容量がいっぱい ※上書き保存 (常時) の設定が OFF のとき</li> <li>イベント録画 (衝撃録画、手動録画) の容量がいっぱいで、全てのイベント録画ファイルが保護されている ※上書き保存 (衝撃、手動) の設定が ON のとき</li> <li>SD カードの残容量が実際の録画時間に対し異なるとき。 (EDR 以外のファイルが SD カードに書き込まれている場合など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての録画動作が出来ません。</li> <li>無線 LAN モードへ移行することが出来ます。</li> <li>イベント録画 (衝撃録画、手動録画) 発生時にファイルが保存されません。</li> <li>無線 LAN モードへ移行することが出来ます。</li> <li>録画可能な時間が少なくなります。</li> <li>無線 LAN モードへ移行することが出来ます。</li> </ul>

・SD カード異常表示のとき、LAN モードに移行しにくいことがあります。その場合、無線 LAN モードに移行するまでスイッチを 10 秒ほど長押しする操作を数回おこなってください。

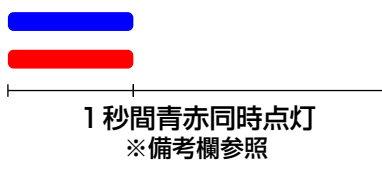
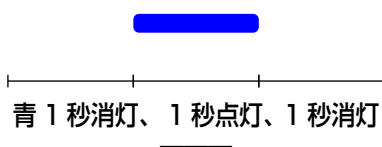
インジケータ表示	状態	備考
青 赤  青継続点灯 / 0.5 秒周期、赤点滅 周期 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント録画 (衝撃録画、手動録画) の容量がいっぱい ※上書き保存 (衝撃、手動) の設定が OFF のとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常時録画は、継続して録画しています。</li> <li>無線 LAN モードへ移行することが出来ます。</li> </ul>
青 赤  赤 2 連点滅、1 秒消灯を 3 回後にシステムチェックの繰り返し 周期 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>フロントカメラ異常</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての録画動作が出来ません。</li> <li>無線 LAN モードへ移行出来ません。</li> </ul>
青 赤  赤 3 連点滅、1 秒消灯別の状態に移行するまで繰り返し 周期 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>リアカメラ異常</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フロントカメラのみで録画します。</li> <li>無線 LAN モードへ移行することが出来ます。</li> </ul>
青 赤  赤 4 連点滅、1 秒消灯別の状態に移行するまで繰り返し 周期 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPS 異常 (EDR-22G のみ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPS の位置情報を記録せずに録画を続けます。</li> <li>無線 LAN モードへ移行することが出来ます。</li> </ul>
青 赤  赤 3 連点滅、1 秒消灯を 2 回、赤 2 連点滅、1 秒消灯を 2 回後システムチェックの繰り返し 周期 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>フロントカメラ、リアカメラ異常</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての録画動作が出来ません。</li> <li>無線 LAN モードへ移行出来ません。</li> </ul>

# ■ インジケータ表示一覧 (つづき)

## ● 異常発生時の状態表示

インジケータ表示	状 態	備 考
青 赤  周期 時間	・ 本体異常	・ すべての機能を使用することが出来ません。

## ● その他の状態表示

インジケータ表示	状 態	備 考
青 赤  周期 時間	・ 無線 LAN 接続、パスワード初期化完了	・ パスワード初期化表示後、初期化操作前の表示に戻ります。
青 赤  周期 時間	・ GPS 測位完了 (EDR-22G のみ)	・ 電源 ON 後、1 回のみ表示。

・「インジケータ表示一覧」に記載のない表示をする場合があります。この場合は、弊社カスタマーサポートセンターまでお問合せください。(64 ページ参照)

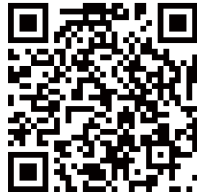
# ■ 専用スマートフォンアプリ「Moto DR」について

本品をご使用頂くには、スマートフォン及び専用スマートフォンアプリ『Moto DR』（無料）が必要です。

下記の二次元コードからアクセスして、スマートフォンにインストールしてください。

※ インストールに伴う通信料は、お客様のご負担となります。

iPhone の方はこちら



Android の方はこちら



アドバイス

・公式アプリストアの検索画面から「Moto DR」で検索し、インストールすることも出来ます。

『Moto DR』のアプリガイドは、下記URL または 二次元コードから、ご確認ください。

[https://www.mskw.co.jp/pdf/edr\\_howtomotodr.pdf](https://www.mskw.co.jp/pdf/edr_howtomotodr.pdf)



# ■ 専用 PC ソフト「Moto DR Player」について

専用 PC ソフト『Moto DR Player』（無料）は、下記 URL からダウンロードしてください。

<https://www.mskw.co.jp/motorcycle/edr/support/>

専用 PC ソフト『Moto DR Player』の使用法等、詳細については、下記 URL または二次元コードから、ご確認ください。

[https://www.mskw.co.jp/pdf/edr\\_howtodrplayer.pdf](https://www.mskw.co.jp/pdf/edr_howtodrplayer.pdf)



## ● 専用 PC ソフト「Moto DR Player」動作システム要件 2025年9月現在

- O S : Windows 11 / Microsoft Windows 10 Version 1809 以降 (64bit 版のみ)
- C P U : Intel Core i3 3.0GHz 相当以上
- メモリ : 4GB 以上 (推奨 : 16GB 以上)
- GPU メモリ : 1GB 以上 (推奨 : 2GB 以上)
- モニタ : 1280 × 1024pixel 以上 (推奨 : 1920 × 1080 pixel 以上)
- その他 : ・ microSDHC、microSDXC に対応した microSD カードスロット  
SD カードアダプターを使用する場合は、SDHC、SDXC に対応した SD カードスロットまたは USB 接続の microSD/SD カードリーダーライター  
・ インターネット接続環境 (EDR-22G を使用し、地図表示する場合)

※ 上記システム要件を満足する、すべての PC での動作を保証するものではありません。

※ ご使用の PC 環境によっては、一部の機能が動作しなかったり、表示や再生が正しくおこなわれない場合があります。

# ■ 専用スマートフォンアプリ / PC ソフトで出来ること

	専用スマートフォンアプリ Moto DR	専用 Windows PC ソフト Moto DR Player
<b>■ 本体機能操作と設定操作</b>		
● カメラ撮影角度の確認	●	×
● SD カードのフォーマット	●	●
● 画像サイズ、画質の設定	●	●
● 音声記録の ON / OFF 設定	●	●
● 衝撃検知感度の設定	●	●
● 録画ファイルの上書き保存 ON / OFF 設定	●	●
● 時刻同期	●	×
● 無線 LAN 接続パスワードの変更	●	×
<b>■ 録画ファイル操作</b>		
<b>● 録画ファイルの再生</b>		
・本体 SD カード内の録画ファイルの再生	●	×
・スマートフォンに保存した録画ファイルの再生	●	×
・PC に接続した SD カード内の録画ファイルの再生	×	●
・PC 内ストレージにバックアップした録画ファイルの再生	×	●
<b>● 録画ファイルの保護・保護解除</b>		
・録画ファイルの個別ファイル保護（上書き禁止）と保護解除	●	●
<b>● 録画ファイルのダウンロード</b>		
・録画ファイルをダウンロードしてスマートフォン内に保存	●	×
<b>● 録画ファイルのバックアップ</b>		
・録画ファイルをバックアップして PC 内ストレージに保存	×	●
<b>● 走行軌跡の表示（EDR-21G<math>\alpha</math>使用時のみ）</b>		
・再生時に自車位置と走行軌跡の地図表示	●	●
<b>● 走行速度の表示（EDR-21G<math>\alpha</math>使用時のみ）</b>		
・GPS の測位データから再生時の走行速度の目安表示	×	●

※ アプリ及びソフトウェアの仕様は、予告なく変更する場合があります。

# 録画 / 録音設定項目一覧

本品で設定可能な録画 / 録音の項目は、下記の通りです。

- 設定の変更は、専用スマートフォンアプリ「Moto DR」または専用 PC ソフト「Moto DR Player」からおこなうことができます。

項目	設定 (★印は初期値です)	説明
画像サイズ	★ 1080P FHD 720P HD VGA <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;">             ↑ 高い              ↓ 鮮明度              ↓ 低い           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録解像度を設定します。</li> <li>・画像サイズを上げると、鮮明さは優れますが、録画可能な時間は少なくなります。</li> <li>・画像サイズを下げると、鮮明さは劣りますが、録画可能な時間は多くなります。</li> </ul>
画質	★ HIGH MID LOW <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;">             ↑ 少ない              ↓ ブロック              ↓ ノイズ              ↓ 多い           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画質を設定します。</li> <li>・画質を上げると、ブロックノイズが目立ちにくくなり、発色が優れますが、録画可能時間は少なくなります。</li> <li>・画質を下げると、ブロックノイズが目立ちやすくなり、発色が劣りますが、録画可能な時間は多くなります。</li> </ul>
衝撃検知感度	LEVEL5 LEVEL4 ★ LEVEL3 LEVEL2 LEVEL1 OFF <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;">             ↑ 鈍感              ↓ 感度              ↓ 敏感           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衝撃によるイベント録画の検知感度を設定します。</li> <li>・感度は数値が大きくなると鈍感になり、小さくなると敏感になります。</li> </ul> <p>※車両の特性、本体の取付状況に合わせ設定してください。</p>
音声記録	★ ON OFF	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声記録の ON / OFF を設定します。</li> </ul>
上書き保存 (常時)	★ ON OFF <p style="margin-left: 20px;">&lt;重要&gt; OFF に設定し、容量の上限に達すると、常時録画が停止します。常時録画が停止すると衝撃、手動の録画も出来なくなります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイル上書きの ON / OFF を設定します。</li> <li>・ON に設定すると、割り当てられた録画容量の上限に達したとき、古い録画ファイルから順に上書きします。</li> <li>・OFF に設定すると、割り当てられた録画容量の上限に達しても、ファイルは上書きされません。</li> </ul>
上書き保存 (衝撃 / 手動)	★ ON OFF	

# ■ 設定画面を表示する

設定画面を表示させる方法について、説明します。

## 1. スマートフォンと EDR 本体を接続する

スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続については、下記のページを確認してください。

- ・ 39 ～ 43 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android) 」
- ・ 44 ～ 47 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS) 」

## 2. 設定画面を表示する

① アプリ TOP 画面から「設定」をタップします。



アドバイス

- ・ 画面右上のメインメニュー「≡」→「設定」の順でタップして、設定画面を表示することも出来ます。

② 設定画面が表示されます。



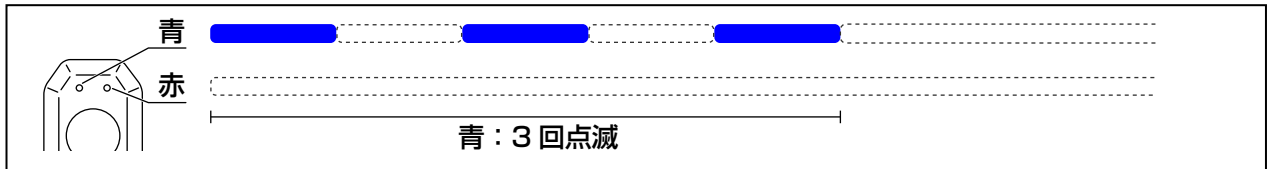
以上で、「設定画面を表示する」の説明は終了です。

# ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)

## 1. EDR 本体を無線 LAN モードにする

- ① 車両のイグニッションキーを IG ON にし、EDR 本体の電源を ON にします。
- ② 数秒後に EDR 本体のシステムチェックが実行されます。

### ● システムチェック中

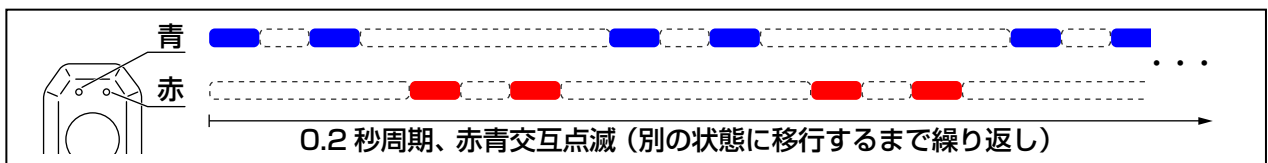


### アドバイス

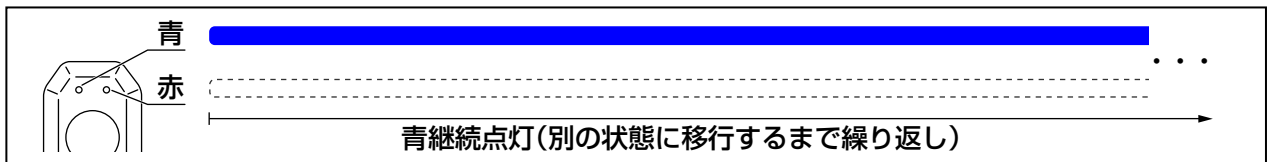
- ・取り付け後、初めて本体の電源を ON した場合や前回の電源 ON から期間が経った場合など、電源 ON からシステムチェックが開始されるまで、20 秒ほどかかることがあります。

- ③ システムチェックが正常に完了すると、常時録画を開始します。  
常時録画中のインジケータは、時刻の同期 / 非同期状態で点灯パターンが異なります。

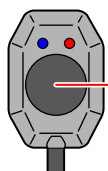
### ● 常時録画中 (時刻非同期状態)



### ● 常時録画中 (時刻同期状態)



- ④ スイッチのボタンを**長押し (3 秒以上)** し、無線 LAN モードにします。  
スイッチのインジケータは、下記パターンで表示します。



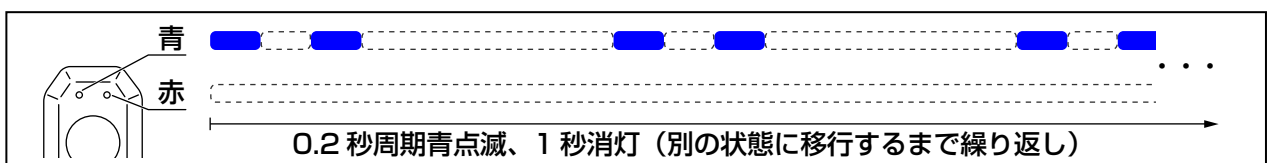
長押し (3 秒以上)



### アドバイス

- ・ボタンを押す時間が短い場合、短押しとなり手動録画 (青点滅) が開始されます。常時録画状態になってから、もう一度ボタンを**長押し (3 秒以上)** してください。
- ・無線 LAN モード中は、録画を停止します。

### ● 無線 LAN モード (接続待機中)



# ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android) …つづき

## 2. スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する

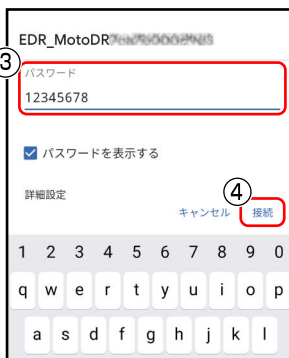
- ① スマートフォンを操作し、設定から「無線 LAN 接続 (Wi-Fi)」を ON にします。
- ② スマートフォンに表示されている接続先 (SSID、アクセスポイント) 一覧から、「EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx」を選択します。



### アドバイス

- ・「EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx」は、EDR 本体固有の英数字です。
- ・スマートフォンの各種操作は、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

- ③ パスワードを入力します。(初期設定値は「12345678」です。)
- ④ 「接続」をタップします。



- ⑤ スマートフォン画面に下図のポップアップが表示されたら、タップします。

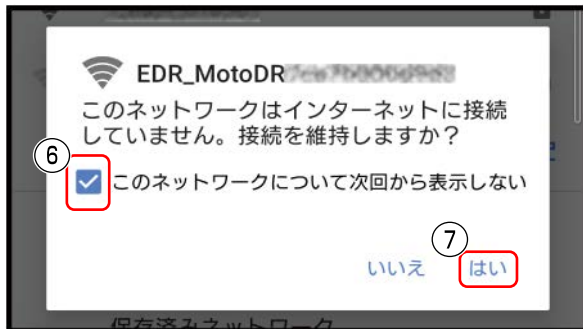


### アドバイス

- ・お使いのスマートフォンにより、ポップアップの表示方法や記載内容が異なる場合があります。
- ・ポップアップが表示されるスマートフォンで、表示されていたポップアップが消えてしまった場合は、EDR 本体との無線 LAN 接続情報を削除し、①の操作からやり直してください。

## ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android) …つづき

- ⑥ 下図が表示されたら、「このネットワークについて次回から表示しない」をチェックします。
- ⑦ 「はい」をタップします。



### アドバイス

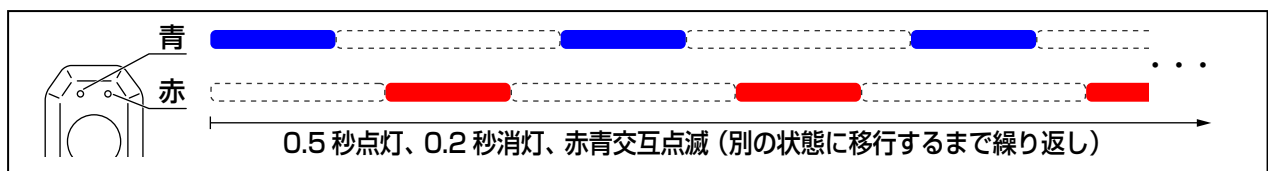
- ・「このネットワークについて次回から表示しない」にチェックを入れて「はい」をタップすると、次回以降は⑤～⑦の操作を省略出来ます。
- ・ポップアップの表示内容は、お使いのスマートフォンの機種によって異なる場合があります。
- ・スマートフォンとの接続（無線 LAN 接続）が出来ない場合は、下記 URL または二次元コードから対処方法をご確認ください。

<https://www.mskw.co.jp/motorcycle/edr/support/>



- ⑧ EDR 本体と無線 LAN が接続されると、インジケータが下記パターンで点灯します。

### ● 無線 LAN モード (接続)



■ : 点灯 / ( ) : 消灯

# ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android) …つづき

## 3. 専用アプリ「Moto DR」を起動する

- ① スマートフォンを操作して、「Moto DR」を起動します。

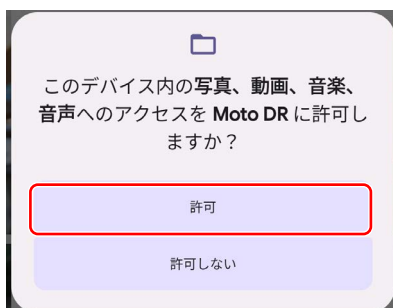


- ② スマートフォンの画面に「位置情報へのアクセス」の確認画面が表示されたら「アプリの使用時のみ」をタップし、アクセスを許可します。



- ③ スマートフォンの画面に「メディアファイル (写真、動画、音楽、音声) へのアクセス」の確認画面が表示されたら「許可」をタップし、アクセスを許可します。

※ お使いのスマートフォンの OS バージョンにより表示されない場合がありますが、アクセスは自動的に許可されます。



### 👉 アドバイス

- ・ アプリインストール後の初回起動時に求められるスマートフォン内へのファイル保存操作や、保存された録画ファイルの再生に必要な権限です。
- ・ 「許可しない」をタップした場合、スマートフォン内へのファイル保存操作やスマートフォン内に保存された録画ファイルの再生が出来ません。また、使用中に「Moto DR」が強制終了してしまう場合があります。

# スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する(Android)…つづき

- ④ スマートフォンの画面に「EDR 本体無線 LAN 接続ガイド」が表示されたら、「スキップ」をタップして閉じます。



## アドバイス

- ・表示される接続ガイドは、ここで説明している内容と同じですので、スキップして閉じます。
- ・次回起動時に「EDR 本体無線 LAN 接続ガイド」を表示させたくない場合は、「次回から起動時に表示しない」をチェックします。
- ・「EDR 本体無線 LAN 接続ガイド」は、アプリ TOP 画面の「ユーザーガイド」から確認することができます。

- ⑤ TOP 画面内の「再生」または「設定」をタップします。アプリの画面に「EDR 本体と接続してください」と表示された場合は、39～43 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)」から操作をやり直してください。



## アドバイス

- ・「再生」を選択し、「常時」「衝撃」「手動」などのタブをタップした場合、アプリの画面中央に「接続中」と表示します。接続を完了すると録画ファイルの読み込みを開始し、アプリの画面中央に「データロード中」と表示します。読み込みが完了した時点で、録画フォルダのリストを表示します。
- ・録画ファイルの読み込みにかかる時間は、録画ファイルの数や通信環境によって異なります。
- ・「データがありません」と表示された場合、SD カードにデータが入っていません。
- ・「設定」を選択した場合、アプリの画面中央に「接続中」と表示します。接続を完了すると、アプリ画面下部に「接続完了しました」と表示し、設定画面を表示します。



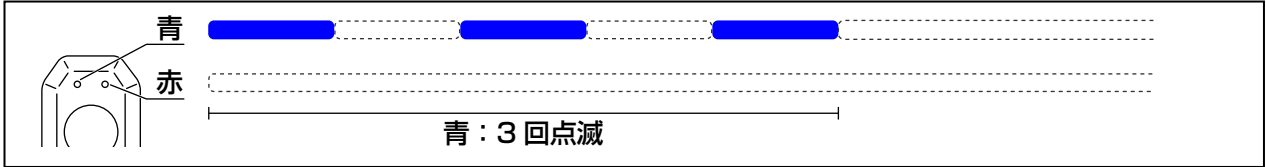
以上で、「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)」の説明は終了です。

# ■ スマートフォンとEDR本体を無線LAN接続する (iOS)

## 1. EDR 本体を無線LANモードにする

- ① 車両のイグニッションキーをIG ONにし、EDR本体の電源をONにします。
- ② 数秒後にEDR本体のシステムチェックが実行されます。

### ● システムチェック中

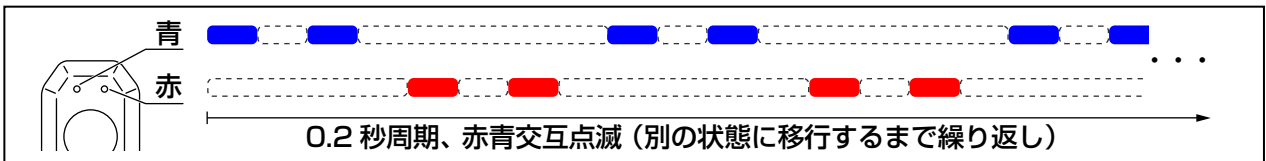


### アドバイス

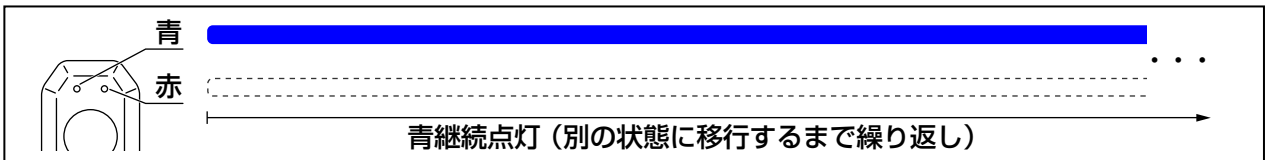
- ・取り付け後、初めて本体の電源をONした場合や前回の電源ONから期間が経った場合など、電源ONからシステムチェックが開始されるまで、20秒ほどかかることがあります。

- ③ システムチェックが正常に完了すると、常時録画を開始します。  
常時録画中のインジケータは、時刻の同期 / 非同期状態で点灯パターンが異なります。

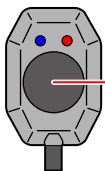
### ● 常時録画中 (時刻非同期状態)



### ● 常時録画中 (時刻同期状態)



- ④ スイッチのボタンを**長押し (3秒以上)**し、無線LANモードにします。  
スイッチのインジケータは、下記パターンで表示します。



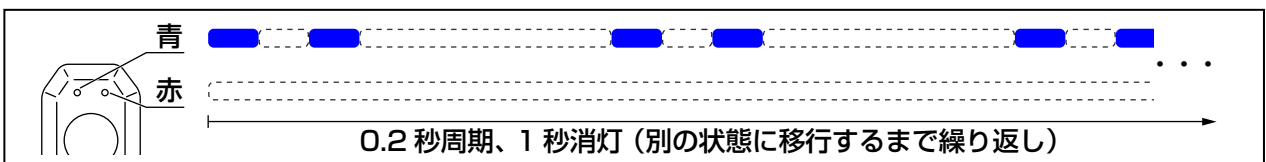
長押し (3秒以上)



### アドバイス

- ・ボタンを押す時間が短い場合、短押しとなり手動録画 (青点滅) が開始されます。常時録画状態になってから、もう一度ボタンを**長押し (3秒以上)**してください。
- ・無線LANモード中は、録画を停止します。

### ● 無線LANモード (接続待機中)



# ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)・・・つづき

## 2. スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する

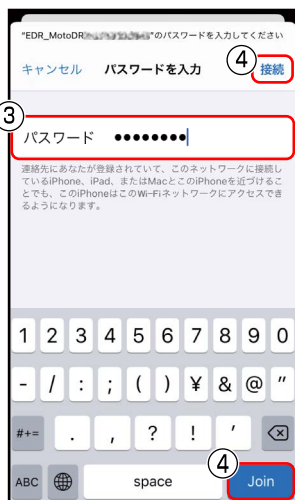
- ① スマートフォンを操作し、設定から「無線 LAN 接続 (Wi-Fi)」を ON にします。
- ② スマートフォンに表示されている接続先 (SSID、アクセスポイント) 一覧から、「EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx」を選択します。



### 👉 アドバイス

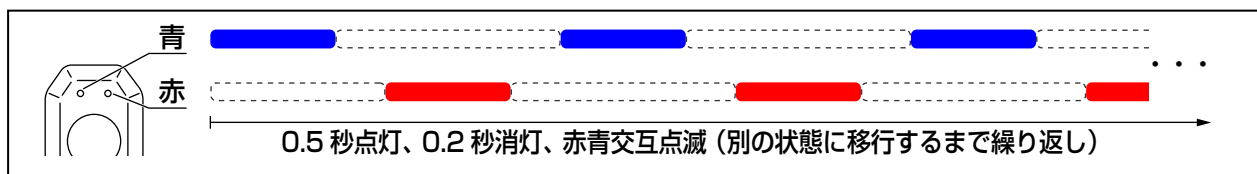
- ・「EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx」は、EDR 本体固有の英数字です。
- ・スマートフォンの各種操作は、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

- ③ パスワードを入力します。(初期設定値は「12345678」です。)
- ④ 画面右上の「接続」または画面右下の「Join」をタップします。



- ⑤ EDR 本体と無線 LAN が接続されると、インジケーターが下記パターンで点灯します。

### ● 無線 LAN モード (接続中)



■ : 点灯 / (---) : 消灯

# ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)・・・つづき

## 3. 専用アプリ「Moto DR」を起動する

① スマートフォンを操作して、「Moto DR」を起動します。



② TOP 画面内の「再生」または「設定」をタップします。  
アプリの画面に「EDR 本体と接続してください」と表示された場合は、44～47 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)」から操作をやり直してください。



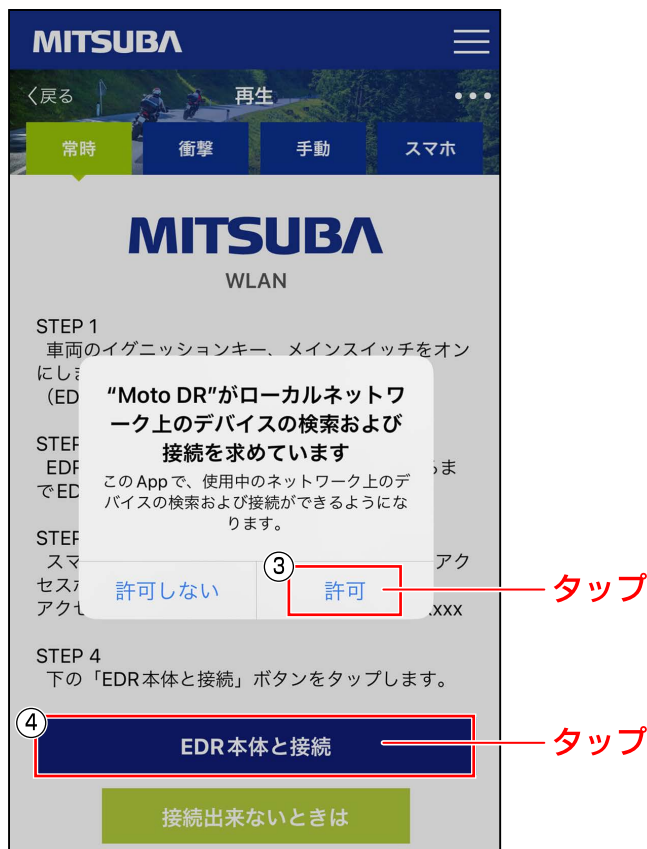
### アドバイス

- ・「再生」を選択し、「常時」「衝撃」「手動」などのタブをタップした場合、アプリの画面中央に「接続中」と表示します。接続を完了すると録画ファイルの読み込みを開始し、アプリの画面中央に「データロード中」と表示します。読み込みが完了した時点で、録画フォルダのリストを表示します。
- ・録画ファイルの読み込みにかかる時間は、録画ファイルの数や通信環境によって異なります。
- ・「データがありません」と表示された場合、SD カードにデータが入っていません。
- ・「設定」を選択した場合、アプリの画面中央に「接続中」と表示します。接続を完了すると、アプリ画面下部に「接続完了しました」と表示し、設定画面を表示します。



# ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する(iOS)・・・つづき

- ③ アプリの画面中央に「"Moto DR"がローカルネットワーク上のデバイスの検索及び接続を求めています」のダイアログが表示された場合は、「許可」または「OK」をタップしてください。
- ④ 次に「EDR 本体と接続」をタップしてください。



## アドバイス

- ・スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続することが出来ない場合は、スマートフォンの設定で「機内モード」を「ON」にしてから、Wi-Fi を「ON」にし、EDR 本体と無線 LAN 接続してください。無線 LAN 接続を終了した場合は、必ず機内モードを OFF にしてください。

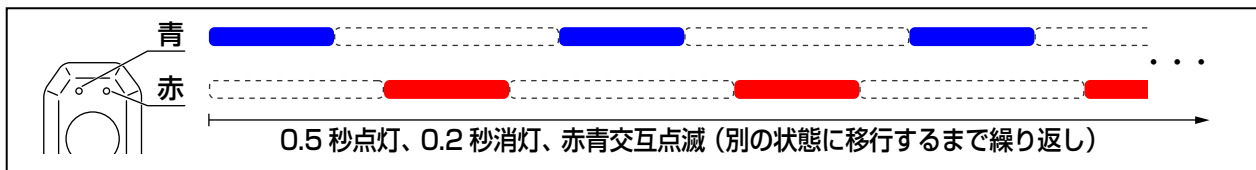
以上で、「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)」の説明は終了です。

# スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続を解除する

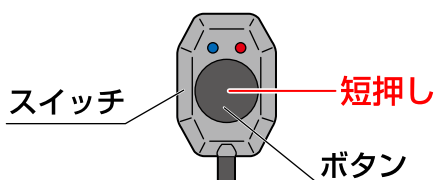
EDR 本体とスマートフォンの無線 LAN 接続を解除する方法について、説明します。

① インジケータが、下記パターンを表示中にスイッチのボタンを短押しします。

## ● 無線 LAN モード (接続中)

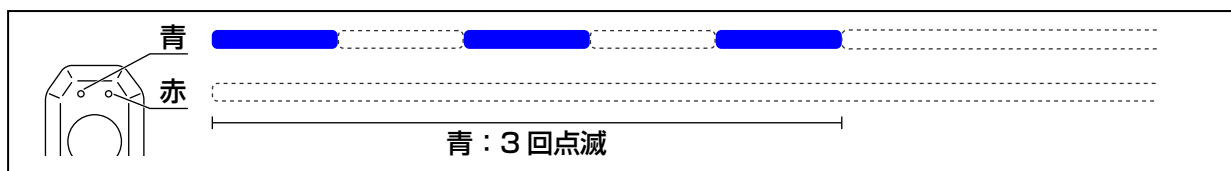


■ : 点灯 / (---) : 消灯



② EDR 本体の無線 LAN モードが解除され、インジケータが数秒間消灯後、システムチェックを開始します。インジケータは、下記パターンで点灯します。

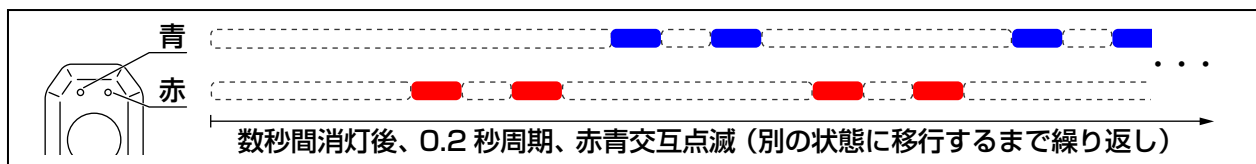
## ● システムチェック中のインジケータ点灯パターン



■ : 点灯 / (---) : 消灯

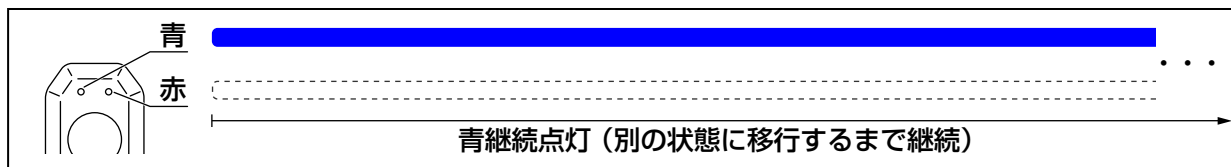
③ システムチェック終了後、常時録画を開始します。常時録画中のインジケータは、下記のように時刻同期状態または非同期状態で点灯パターンが異なります。

## ● 常時録画中 (時刻非同期状態)



■ : 点灯 / (---) : 消灯

## ● 常時録画中 (時刻同期状態)



■ : 点灯 / (---) : 消灯

以上で、「スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続を解除する」の説明は終了です。

# ■ カメラの撮影映像を確認する

車両に取り付けたカメラの撮影映像を確認する方法について、説明します。

## 1. スマートフォンと EDR 本体を接続する

スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続については、下記のページを確認してください。

- ・ 39 ～ 43 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)」
- ・ 44 ～ 47 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)」

## 2. 撮影角度の確認を表示する

① アプリ TOP 画面から「設定」をタップします。



アドバイス

- ・ 設定画面の表示が「録画 / 録音」画面の場合、「機能」タブをタップしてください。



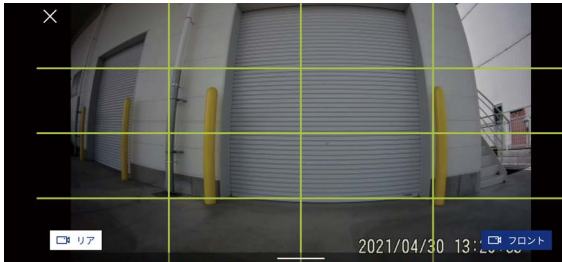
② 「撮影角度の確認」をタップします。



# ■ カメラの撮影映像を確認する (つづき)

## 2. 必要に応じてカメラの取り付け角度を調整する

- ① カメラの撮影映像が表示されたら、スマートフォンを横向きにします。  
カメラの角度調整が必要な場合は、18 ページ「カメラ (フロント / リア) を車両に仮固定する」に従って調整してください。



### アドバイス

- ・画面下の「リア」、「フロント」のボタンをタップすることで、カメラの映像 (リア / フロント) を切り替えることができます。



- ・画面に表示されているボタンは、「×」、「リア」、「フロント」以外の画面をタップして、表示 / 非表示を切り替えることができます。
- ・スマートフォンに表示される映像は、通信状態などの影響で遅れて表示される場合があります。

## 3. カメラの撮影映像表示を終了する

- ① 画面左上の「×」ボタンをタップして画面を閉じます。



以上で、「カメラの撮影映像を確認する」の説明は終了です。

# 時刻同期をする

EDR 本体の時刻をスマートフォンの時刻と同期させる方法について、説明します。

## 1. スマートフォンと EDR 本体を接続する

スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続については、下記のページを確認してください。

- ・ 39 ～ 43 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)」
- ・ 44 ～ 47 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)」

## 2. 時刻同期のメニューを表示する

① アプリ TOP 画面から「設定」をタップします。



### アドバイス

- ・ 設定画面の表示が「録画 / 録音」画面の場合、「機能」タブをタップしてください。



## 3. 時刻同期を実行する

① 「時刻同期」をタップして時刻同期を実行します。

本体の時刻がスマートフォンと同期されると、画面の下に「設定完了」と表示されます。



### アドバイス

- ・ 本体内蔵の時計は誤差が生じるため、時刻ズレ防止のため、定期的（1ヶ月に数回）に時刻同期をおこなってください。
- ・ EDR-22G は、GPS 電波を受信することで自動的に時刻同期をおこないますが、上記にあるように時刻にズレが生じます。前回の走行から期間が空いた場合は、走行前に時刻同期をおこなってください。
- ・ バッテリー交換やバッテリー端子を外した場合、初期時刻（2022年1月1日）にリセットされます。再度、時刻同期をおこなってください。

以上で、「時刻同期をする」の説明は終了です。

# SD カードをフォーマットする

EDR 本体に挿入された SD カードのフォーマット方法について、説明します。

## 1. スマートフォンと EDR 本体を接続する

スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続については、下記のページを確認してください。

- ・ 39 ～ 43 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)」
- ・ 44 ～ 47 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)」

## 2. フォーマットのメニューを表示する

① アプリ TOP 画面から「設定」をタップします。



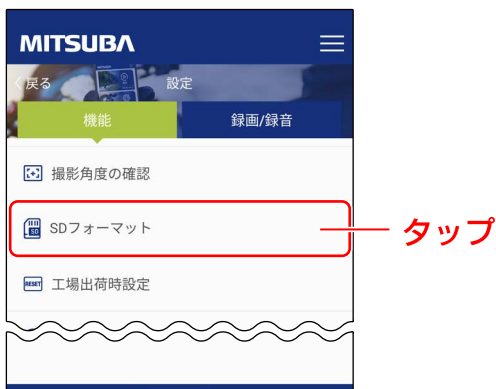
👉 アドバイス

- ・ 設定画面の表示が「録画 / 録音」画面の場合、「機能」タブをタップしてください。



## 3. SD フォーマットを実行する

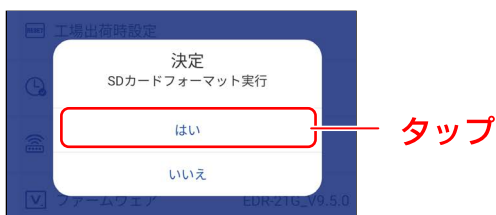
① 「SD フォーマット」をタップします。



👉 アドバイス

- ・ フォーマットを実行すると、SD カードに記録されているファイルは、すべて消去されます。大切なファイルは、バックアップをおこなってから、フォーマットを実行してください。

② SD カードフォーマット実行画面で「はい」をタップします。フォーマットが完了すると、画面の下に「フォーマット成功」と表示されます。



以上で、「SD カードをフォーマットする」の説明は終了です。

# ■ 無線 LAN パスワードを変更する

スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する際に必要となるパスワードの変更方法について、説明します。

## 1. スマートフォンと EDR 本体を接続する

スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続については、下記のページを確認してください。

- ・ 39 ~ 43 ページ 「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android) 」
- ・ 44 ~ 47 ページ 「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS) 」

## 2. 無線 LAN PASS 変更のメニューを表示する

- ① アプリ TOP 画面から「設定」をタップします。



アドバイス

- ・ 設定画面の表示が「録画 / 録音」画面の場合、「機能」タブをタップしてください。



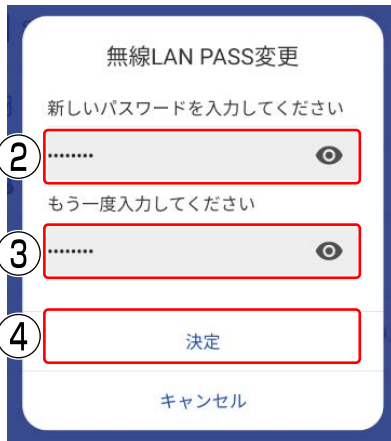
## 3. 無線 LAN のパスワードを変更する

- ① 機能タブの項目から「無線 LAN PASS 変更」をタップします。



# ■ 無線 LAN パスワードを変更する (つづき)

- ② 「新しいパスワードを入力してください」欄に新しいパスワード (英数 8 文字以上) を入力します。
- ③ 「もう一度入力してください」欄に②で入力したパスワードと同じパスワードを再度、入力します。
- ④ 「決定」をタップして、新しいパスワードに変更します。



## アドバイス

- ・無線 LAN パスワードの変更が完了すると、画面の下に「設定完了」と「MITSUBA EDR との接続が切断されました」と表示されます。

### 3-1. スマートフォンの EDR 接続情報を再設定する (Android)

無線 LAN パスワードを変更後は、スマートフォンに保存された EDR 本体との無線 LAN 接続情報を一度削除する必要があります。接続情報を削除しないと、EDR 本体と無線 LAN 接続出来なくなります。必ず、接続情報を削除してください。

※ スマートフォンの画面表示は、お使いの機種によって異なります。

- ① スマートフォンの設定アイコンをタップします。



設定

- ② 設定画面が表示されたら、ネットワーク接続に関する項目「ネットワークとインターネット」や「接続」等をタップします。



# ■ 無線 LAN パスワードを変更する (つづき)

- ③ ネットワーク接続に関する画面が表示されたら、無線 LAN (Wi-Fi) を ON にします。



- ④ 接続先 (SSID、アクセスポイント) 一覧から、「EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx」を探し、選択画面が表示されるまで、接続先名を長押しします。

※ 「xxxx…」は EDR 本体固有の英数字です。



- ⑤ 選択画面で「接続 / 削除 / 変更」が表示されたら、「削除」をタップします。



以上で、「無線 LAN パスワードを変更する」(Android) の説明は終了です。  
本体と無線 LAN 接続をおこなう場合は、変更後のパスワードを入力し、接続してください。

# ■ 無線 LAN パスワードを変更する (つづき)

## 3-2. スマートフォンの EDR 接続情報を再設定する (iOS)

無線 LAN パスワードを変更後は、スマートフォンに保存された EDR 本体との無線 LAN 接続情報を一度削除する必要があります。接続情報を削除しないと、EDR 本体と無線 LAN 接続出来なくなります。必ず、接続情報を削除してください。

※ スマートフォンの画面表示は、お使いの機種によって異なります。

- ① スマートフォンの設定アイコンをタップします。



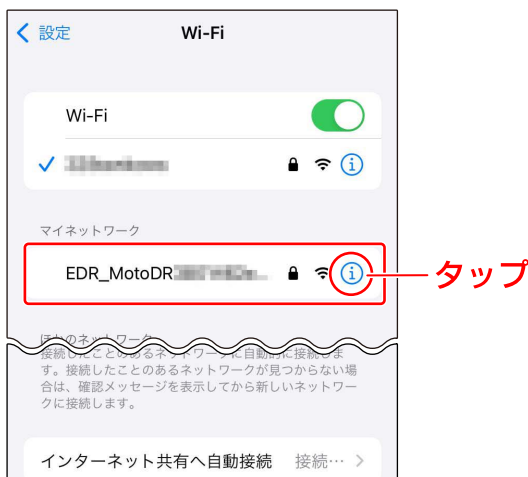
設定

- ② 設定の一覧から「Wi-Fi」をタップし、下図の画面が表示されたら、無線 LAN (Wi-Fi) を ON にします。



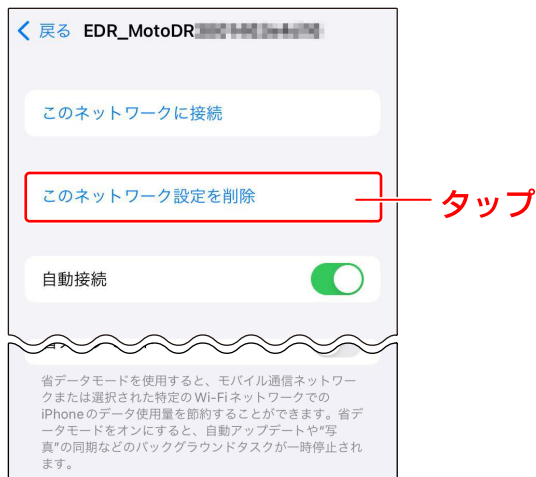
- ③ 接続先 (SSID、アクセスポイント) 一覧から、「EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx」を探し、**i** アイコンをタップします。

※ 「xxxx…」は EDR 本体固有の英数字です。



# ■ 無線 LAN パスワードを変更する (つづき)

- ④ 画面に表示されている項目から「このネットワーク設定を削除」をタップします。



- ⑤ アプリの画面中央に「Wi-Fi ネットワーク “EDR\_Moto DRxxxxxxxxxxxx” を削除しますか？」のダイアログが表示されたら、「削除」をタップします。

※ 「xxxx…」は EDR 本体固有の英数字です。



以上で、「無線 LAN パスワードを変更する」(iOS) の説明は終了です。  
本体と無線 LAN 接続をおこなう場合は、変更後のパスワードを入力し、接続してください。

# 無線 LAN パスワードを初期化する

無線 LAN パスワードを初期化する方法について、説明します。パスワードを忘れたときや、変更したいときなどにご使用ください。

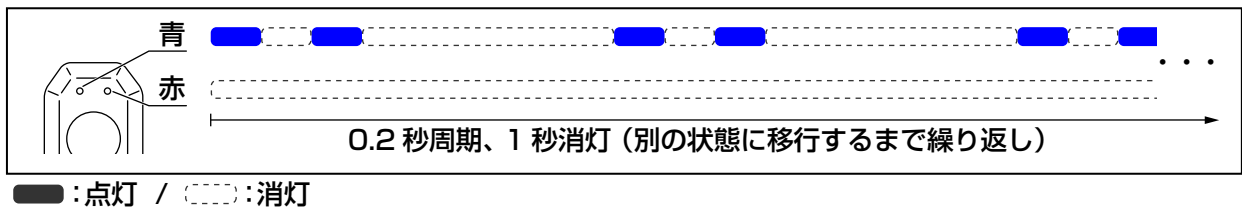
## 1. 本体の電源を ON にする

車両のイグニッションキーを IG ON にし、EDR 本体の電源を ON にします。

## 2. 無線 LAN モードにする

- ① システムチェックが終了し、本体が起動するまで待ちます。
- ② EDR 本体が起動したら、スイッチのボタンを**長押し (3 秒以上)** します。
- ③ 無線 LAN モード (接続待機中) に変わるまで待ちます。下記パターンでインジケーターが表示します。

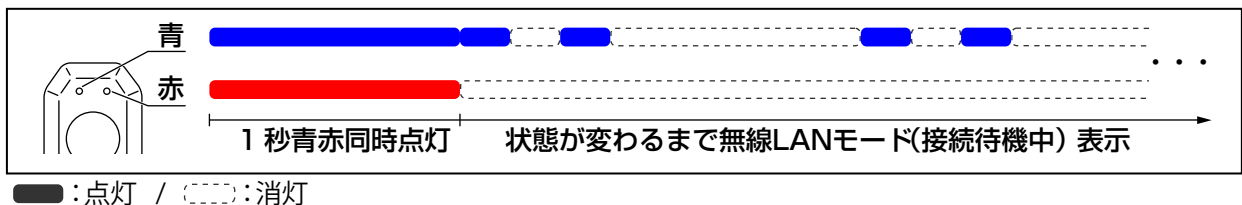
### ● 無線 LAN モード (接続待機中)



## 3. 無線 LAN パスワードを初期化する

- ① 無線 LAN モード (接続待機中) にスイッチのボタンを**長押し (3 秒以上)** します。
- ② パスワードの初期化が完了すると、下記パターンでインジケーターが点灯します。

### ● 無線 LAN パスワード初期化完了時



### アドバイス

- ・無線 LAN パスワードの初期化は、無線 LAN 接続中でも出来ます。再接続の方法は、下記のページを確認してください。
- ・39 ~ 43 ページ「スマートフォンと本体を無線 LAN で接続する (Android)」
- ・44 ~ 47 ページ「スマートフォンと本体を無線 LAN で接続する (iOS)」

以上で、「無線 LAN パスワードを初期化する」の説明は終了です。

# 工場出荷時設定

EDR 本体の設定（無線 LAN パスワードを除く）を工場出荷時設定に戻す方法について、説明します。

## 1. スマートフォンと EDR 本体を接続する

スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続については、下記のページを確認してください。

- ・ 39 ～ 43 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する（Android）」
- ・ 44 ～ 47 ページ「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する（iOS）」

## 2. 工場出荷時設定のメニューを表示する

① アプリ TOP 画面から「設定」をタップします。



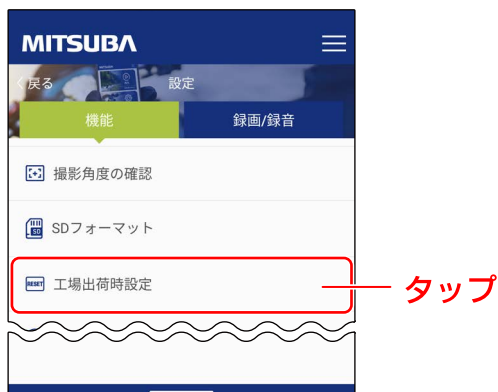
👉 アドバイス

- ・ 設定画面の表示が「録画 / 録音」画面の場合、「機能」タブをタップしてください。

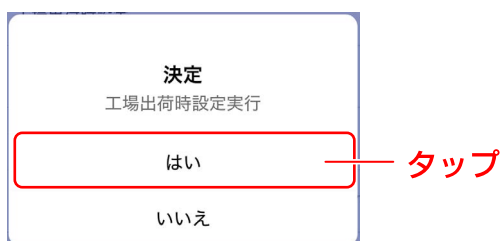


## 3. 工場出荷時設定を実行する

① 「工場出荷時設定」をタップします。



② 工場出荷時設定の実行画面で「はい」をタップします。



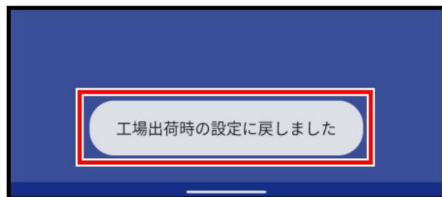
👉 アドバイス

- ・ 設定した日付と無線 LAN パスワードは保持します。

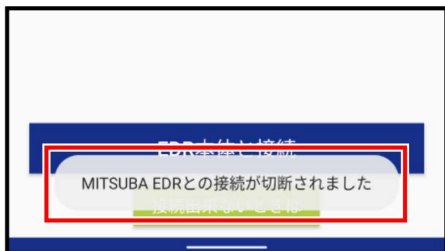
## ■ 工場出荷時設定（つづき）

---

- ③ 工場出荷時設定を完了すると、画面下に「工場出荷時の設定に戻しました」と表示されます。



- ④ EDR 本体の設定が工場出荷時の設定に戻ると、スマートフォンとの無線 LAN 接続が切断され、画面下に「MITSUBA EDR との接続が切断されました」と表示されます。



以上で、「工場出荷時設定」の説明は終了です。

# ■ リセットスイッチについて

EDR 本体の設定を初期化（工場出荷状態）する方法について、説明します。通常と異なる動作をした際に、電源 OFF / ON で改善が見られない場合などにご使用ください。

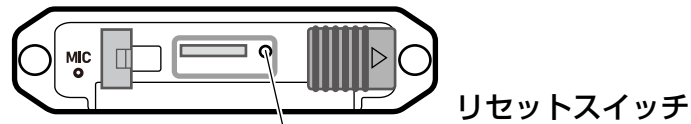
※ 各種設定内容は全てリセットされ、初期設定（工場出荷状態）に戻ります。

## ● リセットされる設定内容

- ・時刻設定
- ・無線 LAN パスワード
- ・録画サイズ
- ・画質
- ・衝撃検知感度
- ・音声記録
- ・上書き(常時)
- ・上書き(衝撃 / 手動)

## ■ EDR 本体を初期化する

- ① 車両のイグニッションキーを ON にします。EDR 本体の電源が ON になります。
- ② EDR 本体の防水キャップを開きます。
- ③ EDR 本体に小さな孔が空いていますので、ボールペン等の先端が細い物を挿し込み、リセットスイッチを押します。（下図参照）



- ④ 数秒後にインジケータが消灯し、EDR 本体が再起動します。



### アドバイス

- ・リセットスイッチを押すときは、強い力で押さないでください。強い力で押した場合、内部のスイッチが破損する場合があります。
- ・システムチェック後、エラー表示をする場合には、62 ~ 64 ページ「こんなときはー Q&A ー」を確認の上、処置してください。

以上で、「リセットスイッチについて」の説明は終了です。

# ■ こんなときは -Q&A-

本品を使用中に不具合があった場合、下記の確認をご確認ください。

## ● インジケータ表示関係

No.	こんなとき・症状	チェック項目	処置方法
1	・車両 IG を ON しても、インジケータが点灯しない。	・ヒューズが切れていませんか？	・ヒューズ切れの原因を取り除き、ヒューズ (3A) を交換してください。
		・電源ユニット、スイッチケーブルの中継コネクタが外れていませんか？	・中継コネクタを接続し、ロックナットを締め付けてください。
2	・システムチェック動作後、インジケータが点灯しない。	・本体に SD カードが挿入されていますか？	・SD カードを正しく挿入してください。 ・別の SD カードを挿入してください。
3	・SD カード異常表示をする。	・SD カードに端子の汚れやひび割れはありませんか？	・SD カードの端子清掃や新しい SD カードと交換をしてください。
		・SD カードに EDR とは関係のないファイル、フォルダが書き込まれていませんか？	・EDR とは関係のないファイル、フォルダを削除するか、SD カードを本品でフォーマットしてください。
		・上書き保存 (常時) が OFF に設定されていませんか？	・上書き保存 (常時) の設定を ON にするか、新しい SD カードと交換してください。
		・本品でフォーマットしていない SD カードを使用していませんか？	・フォーマットが必要です。本品でフォーマットしてください。
4	・イベント録画 (衝撃録画、手動録画) の容量がいっぱい表示をする。	・保護した録画ファイルで (常時または衝撃・手動) ファイルがいっぱいになっていませんか？	・録画したファイルの保護を解除するか、不要なファイルを削除してください。
		・上書き保存 (衝撃・手動) が OFF に設定されていませんか？	・上書き保存 (衝撃・手動) の設定を ON にするか、新しい SD カードに交換してください。
5	・フロントカメラ異常表示をする。	・フロントカメラケーブルの中継コネクタが外れていませんか？	・中継コネクタを接続し、ロックナットを締め付けてください。
		・ケーブルやカメラに破損はありませんか？	・新しいカメラを購入してください。
6	・リアカメラ異常表示をする。	・リアカメラケーブルの中継コネクタが外れていませんか？	・中継コネクタを接続し、ロックナットを締め付けてください。
		・ケーブルやカメラに破損はありませんか？	・新しいカメラを購入してください。
7	・GPS 異常表示をする。 ※EDR-22G のみ	・GPS ケーブルの中継コネクタが外れていませんか？	・中継コネクタを接続し、ロックナットを締め付けてください。
		・GPS ケーブルや GPS アンテナに破損はありませんか？	・新しい GPS アンテナを購入してください。
8	・本体異常表示をする。	・電源を入れ直してみましたか？	・車両の IG を一度 OFF にし、しばらくしてから IG を ON にしてください。

# ■ こんなときは -Q&A- (つづき)

## ● カメラ映像関係

No.	こんなとき・症状	チェック項目	処置方法
1	・カメラの映像が傾いて、または天地が逆に録画される。	・カメラ後部の TOP マーク「△」が上になっていますか？	・カメラ後部の TOP マーク「△」が上になるように調整してください。
2	・フロントカメラとリアカメラの映像が入れ替わって録画される。	・フロントカメラとリアカメラの本体接続が逆になっていませんか？	・正しい接続先に接続してください。
3	・フロントカメラとリアカメラの映像の色調に差がある。	・フロント、リアで録画時の被写体（環境）に差がありませんか？	・フロント、リア個別に被写体に合わせ、自動で色調を調整しています。異常ではありません。
4	・録画された映像が鮮明でない。	・録画サイズの設定が低くなっていますか？	・録画サイズの設定を高くしてください。
		・画質の設定が低くなっていますか？	・画質の設定を高くしてください。
		・カメラのレンズが、汚れていませんか？	・水を含ませた柔らかい布で、レンズを軽く拭いてください。
5	・録画された映像が乱れる。	・エンジンの OFF / ON で映像の乱れに差がありますか？	・車両からのノイズの可能性がります。カメラケーブルの引き回しや本体の位置を変えて確認してください。
6	・録画された映像が揺れる。	・エンジンの OFF / ON で映像の揺れに差がありますか？	・カメラ固定部の振動が大きい可能性があります。カメラ固定位置を変えて確認してください。

## ● Gセンサー・GPS関係

No.	こんなとき・症状	チェック項目	処置方法
1	・衝撃録画がされない。	・衝撃検知の設定が OFF になっていませんか？	・衝撃検知感度の設定を ON にしてください。
		・衝撃検知感度の設定数値が大きく（鈍感）になっていませんか？	・衝撃検知感度の設定数値を小さく（敏感）してください。
2	・衝撃録画が頻繁にされる。	・本体が車両にしっかり固定されていますか？	・本体が動かないように固定してください。
		・衝撃検知感度の設定数値を小さく（敏感）していませんか？	・衝撃検知感度の設定数値を大きく（鈍感）してください。
3	・GPS の位置情報が取得出来ない。位置がズレる。 ※EDR-22G のみ	・GPS アンテナの上方向が金属または金属でコーティングされたもので覆われていませんか？	・GPS アンテナの上方向に金属または金属コーティングされたものがない場所に取り付けてください。
		・トンネル内や山間部、ビル街、高架下等を走行していませんか？	・周囲の環境によって、GPS 電波を受信しにくい場所があります。場所を変えて確認してください。

# ■ こんなときは -Q&A- (つづき)

## ● 無線 LAN 関係

No.	こんなとき・症状	チェック項目	処置方法
1	・スマートフォンから無線 LAN 接続出来ない。	・パスワードを正しく入力しましたか？	・正しいパスワードを入力してください。 ・パスワードが分からない場合は、無線 LAN パスワードを初期化してください。
2	・スマートフォンと接続したが、アプリで接続エラーになる。	・スマートフォンで「インターネット接続が無いネットワークの接続を維持する」に設定していますか？ (Android のみ)	・スマートフォンアプリガイドを参照して、接続をおこなってください。 ・本書の 39 ページ「スマートフォンと EDR を無線 LAN 接続する」を参照して、接続をおこなってください。
		・別のスマートフォンが、接続されていませんか？	・複数のスマートフォンと同時接続出来ません。使用していないスマートフォンの接続を解除してください。
		・別のスマートフォンで接続出来ますか？	・スマートフォン個体の問題と思われる。別のスマートフォンで接続してください。

## ● 動作関係

No.	こんなとき・症状	チェック項目	処置方法
1	・使用中に本体やカメラが発熱する。	・触れないほど熱いですか？	・使用中は発熱します。触れないほど発熱する場合は、直ちに使用を止めてください。
2	・録画映像の表示時刻と実際の時刻がズレている。	・時刻同期は定期的におこなっていますか？	・専用スマートフォンアプリを使用し、定期的に時刻同期をおこなってください。

・「インジケータ表示一覧」(32 ~ 34 ページ) に記載のない表示をする場合は、弊社カスタマーサポートセンターまでお問合せください。

# ■ 商品に関するお問い合わせ窓口

製品を使用中に正常に動作しなくなったときは、「こんなときは -Q&A-」(62 ~ 64 ページ) を参考に確認ください。記載された処置をおこなっても改善が見られないときは、販売店様または弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

株式会社ミツバサンコーワ  
カスタマーサポートセンター ☎ 0277-30-5802  
〒379-2312 群馬県みどり市笠懸町久宮 289-3

本品ファームウェアやアプリ・PC ソフト等のアップデート情報、最新の取扱説明書は随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.mskw.co.jp/>

# ■ 主な仕様

※ 仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。

## ● 本体

・外形寸法	85mm (W) × 62mm (D) × 21mm (H) 突起部除く
・質量	EDR-22G : 223g / EDR-22 : 208g
・防塵・防水性	IP66・67
・Gセンサー	有
・マイク	有
・無線LAN	2.4GHz帯 IEEE802.11b/g/n
・記憶媒体	microSDHCカード・microSDXCカード
・電源電圧	DC12V (バッテリー搭載車専用)
・消費電流	録画時：約0.35A / 暗電流：約0.05mA (共にバッテリー電圧12V、常温時)
・動作温度範囲	-20 ~ 70℃
・保存温度範囲	-25 ~ 85℃

## ● カメラ (フロント・リア)

・外形寸法	Φ27mm (W) × 43mm (D) 突起部除く
・質量	79g (ケーブル長：0.9m) / 94g (ケーブル長：1.4m)
・防塵・防水性	IP66・67
・撮像素子	CMOSイメージセンサー 200万画素
・レンズ画角	対角162° (水平137.4° 垂直73.6°)
・フレームレート	27.5fps
・F値	1.8
・最低被写体照度	1lux
・動作温度範囲	-20 ~ 60℃
・保存温度範囲	-25 ~ 85℃

## ● GPS ※EDR-22Gのみ

・外形寸法	33mm (W) × 43.7mm (D) × 13.5mm (H) 突起部除く
・質量	60g
・防塵・防水性	IP66・67
・動作温度範囲	-20 ~ 70℃
・保存温度範囲	-25 ~ 85℃

## ● スイッチ

・外形寸法	23mm (W) × 35mm (D) × 9.5mm (H) 突起部除く
・質量	41g
・防塵・防水性	IP66・67
・動作温度範囲	-20 ~ 70℃
・保存温度範囲	-25 ~ 85℃

## ● 電源ユニット

・外形寸法	74mm (W) × 26mm (D) × 24mm (H) 突起部除く
・質量	67g
・防塵・防水性	IP66・67
・動作温度範囲	-20 ~ 70℃
・保存温度範囲	-25 ~ 85℃

# ■ 主な仕様 (つづき)

※ 仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。

## ● システム

- ・画像サイズ 1920 × 1080P (1080P) / 1280 × 720P (720P) / 640 × 480 (VGA)
- ・画質 HIGH / MID / LOW
- ・音声 モノラル 16kHz  
ON / OFF 選択可能
- ・ファイル形式 MP4
- ・コーデック 動画 H.264  
音声 AAC
- ・基本ファイル構成 30 秒 / 1 ファイル
- ・記録方式 常時録画、イベント録画 (衝撃録画・手動録画)
- ・記録データ 動画、音声、日時、加速度、位置情報 ※EDR-22G のみ
- ・WDR 有 (自動)
- ・色調補正 有 (自動)

# ■ ライセンス情報

Open source code	License	License Web addr
uitron/DrvExt/BlueTooth	GPL v3.0	<a href="https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.en.html">https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.en.html</a>
uitron/Include/Common/arm_neon.h		
uitron/ThirdParty/ecos-profiling		
uitron/ThirdParty/eCos		
uitron/Include/Common/arm_neon.h		
uitron/Common/LibC		
gcclibstdc++		
gcclibgcc		
uclibc	LGPL	<a href="https://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">https://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
glibc		
uitron/Lib/iq_tuning_api	BSD3.0	<a href="https://www.freebsd.org/copyright/freebsd-license.html">https://www.freebsd.org/copyright/freebsd-license.html</a>
axTLS		
DLNA		
uitron/Common/Utility/lz.c		
uitron/Common/LibC		
uitron/Project/DemoKit/eCos/test_ping.c	RedHat eCos Public License	<a href="http://ecos.sourceware.org/old-license.html">http://ecos.sourceware.org/old-license.html</a>
curl	MIT	<a href="https://mit-license.org/">https://mit-license.org/</a>

- Google、Android、Google Play、Google マップは、Google LLC の商標または登録商標です。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- iOS 商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
- microSD™、microSD、microSDHC、microSDXC は、SD Association の登録商標です。
- microSD、microSDHC、microSDXC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、core は米国 Intel Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

株式会社 **ミツバサンコーワ**

本社 / 〒175 - 0094 東京都板橋区成増 3 - 3 - 4